

# 施策評価シート

施策コード	5101	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	農林水産業の振興	所属名 農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○農林水産業は、担い手の育成や不安定な経営環境の改善が求められています。</p> <p>○農業では、意欲ある担い手への農地の集積や地域が一体となった保全・活用などが求められています。農業経営の安定のため、農産物の高付加価値化、特産品化が求められ、消費者に地元農業、農産物への認識と理解を深める一層の取組みが必要とされています。また、国の農政改革に対応した事業の実施が求められています。</p> <p>○林業は、スギなどの人工林の荒廃が進むとともに、放置竹林が拡大しています。森林は、木材などの生産機能に限らず、水源涵養や環境保全などの公益的機能を持つことから、間伐を中心とした森林の保育や木質バイオマスなど間伐材の有効活用が求められています。</p> <p>○水産業においては、燃油高騰などの悪条件が重なり厳しい経営状況となっていますが、漁業振興に向け、定置網漁業や6次産業化など新たな取組みが進んでいます。</p> <p>○鳥取自動車道の開通を契機に農林水産物の販路拡大が期待されていますが、本市の一次産業は経営規模が小さく、梨、らっきょう、松葉がなど全国的に知られた特産品は限られています。このため、地域の特性を活かした品目に集中した生産・出荷拡大の支援を行い、産地化を進める必要があります。</p>
めざす方向	農林漁業団体と連携し、経営環境の改善や生産基盤の維持・整備を進めるとともに、担い手を育成・確保します。また、農林水産物の産地化・特産品化を進めるため、生産拡大と全国への情報発信、販路拡大を図り、安定し持続可能な農林水産業をめざします。
達成するための対策・手段	<p>①農林水産物の産地化、特産品化の促進と間伐を中心とした森林整備</p> <p>②農林水産業の担い手の育成、確保</p> <p>③農林水産業の生産基盤の整備、維持保全</p> <p>④農山漁村の活性化</p> <p>⑤環境にやさしい農業の普及、拡大と消費者理解の促進</p> <p>⑥地産地消と食育の推進</p>

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	新規就農者数	人	目標	6	6	6	6	6
				実績	5	7	8	7	4
				目標達成率	83%	117%	133%	117%	67%
		(指標の説明) 就農計画を策定し、県の認定を受けた就農者の人数。(基準値は平成21年度)							
	2	間伐材搬出量	万?	目標	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
				実績	1.6	4	2.2	3.8	3.9
				目標達成率	107%	267%	147%	253%	260%
		(指標の説明) 林業の生産振興を示す指標。(基準値は平成21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
実績				0	0	0	0	0	
目標達成率									
(指標の説明)									

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	809,852	1,334,710	1,192,396	1,189,661	1,689,873

## 5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果</p> <p>(成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>農業では新規就農者を増やすための支援を効果的に実施し、新規就農者(4名)を育成しました。白ねき・ブロッコリー等の地域特産品への出荷奨励を行い、特産品の育成を図りました。また、地域共同による農地・水路等の資源の保全管理や農村環境を守る取り組みを支援し、農業・農村の地域資源の保全管理に努めました。林業では造林事業や間伐材搬出助成などに取り組み、林業の振興を図るとともに、多面的機能を持つ森林の保全に努めました。漁業の新規就業者に対して研修支援や漁船等の初期投資に支援することで水産業の担い手育成を図るとともに、定置網導入や6次産業化など新たな取り組みへの支援を行い、水産業の活性化に努めました。</p>
--	---

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント</p> <p>(部としての施策の方向性)</p> <p>※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>農業では鳥取市農業振興プランに基づく農業振興策や、鳥取自動車道を活用した農産物販路拡大の事業を実施し、制度改正となった多面的機能支払制度の周知を図り、良好な農業・農村を維持するための地域活動に対してより一層の支援を行い、農業・農村の活性化を図ります。林業では現在の施策を継続して実施していくとともに、間伐材搬出の促進やボランティア活動の支援を推進することで、森林の機能保全や更なる林業の振興を目指します。水産業では担い手の育成を通じて、漁業就業者の確保を図るとともに、定置網漁業などを有効に利用して地域の活性化を図ります。</p>

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002040	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域特産品振興対策事業		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域特産品振興対策事業補助金交付要綱、鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-31-30

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ブロッコリー、アスパラガス、生姜
意図 (どのような状態にするために)	市場等への一定量の出荷を確保し、特産品化を図る。
手段 (どうするのか)	対象作物に対する出荷奨励を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 出荷奨励	平成24年度 出荷奨励	平成25年度 出荷奨励	平成26年度 出荷奨励	平成27年度 出荷奨励	
	年度別実績	①振興作物の出荷助成 ・白ねぎ235.6t ・ブロッコリー22.3t ・アスパラガス12.0t ・生姜(出荷)2.06t ・生姜(保管庫)5.58t	①振興作物の出荷助成 ・白ねぎ280.3t ・ブロッコリー27.6t ・アスパラガス15.6t ・生姜(出荷)5.94t ・生姜(保管庫)5.11t	①振興作物の出荷助成 ・白ねぎ281.1t ・ブロッコリー22.9t ・アスパラガス16.4t ・生姜(出荷)5.42t ・生姜(保管庫)2.97t	①振興作物の出荷助成 ・ブロッコリー25.5t ・アスパラガス15.4t ・生姜(出荷)6.2t ・生姜(保管庫)4.6t	①振興作物の出荷助成 ・ブロッコリー30.9t ・アスパラガス17.4t ・生姜(出荷)7.6t	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,500	8,175	7,903	3,793	6,353	
	直接経費 A	6,200	7,878	7,612	3,492	6,059	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	213
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	145
一般財源	6,200	7,878	7,612	3,492	5,701		
人件費 B	300	297	291	301	294		
職員数の内訳	正規職員	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出荷量	単位	t	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	0	0	350	85	85			
	実績	0	0	329	52	56				
(指標の説明) 白ネギ(25年度まで)、ブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷量										
2	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										
3	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P150（農015）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>特色ある農産物やブランド農産物等、地域・産地に適した農産物、加工品の生産拡大と産地育成を総合的に行うことで生産者等の生産意欲向上と本市の農業振興を図る。</p> <p>○特産品生産等むらづくり支援事業：地区、集落等が取り組む特産品開発研修、販路拡大活動、機械・資材導入支援：補助率：2/3以内（補助金上限30万円）</p> <p>○地場野菜生産振興対策事業：小規模生産者が取り組む、地場野菜の生産体制の整備に要する経費への支援：補助率：1/2以内（補助金上限30万円）</p> <p>○地域特産品振興対策事業：作付拡大しているブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷に対する支援：補助率：ブロッコリー65円/kg、アスパラガス110円/kg、生姜5円/kg</p> <p>○鳥取地域ブランド農産物育成支援事業：ブランド農産物に係る登録マーク活用支援、開発宣伝支援、高度生産支援：補助率：1/2以内(補助金上限あり)</p> <p>○野菜生産拡大支援事業：生産規模拡大に係る資材等経費に対する支援 補助率：1/3以内</p> <p>○直売所販売促進等支援事業：残留農薬検査に要する資材等の経費に対する支援：補助率：1/2以内</p> <p>【事業の成果】</p> <p>加工品の商品数の増加や、野菜の生産面積拡大に伴う生産量の増加などによる農業所得の向上につながっている。</p> <p>(主な事業の成果) 地域特産品振興対策事業 対象品目の出荷量</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>ブロッコリー</td> <td>アスパラガス</td> <td>生姜</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>22.9t</td> <td>16.4t</td> <td>8.4t</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>25.5t</td> <td>15.4t</td> <td>10.8t</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>31.0t</td> <td>17.4t</td> <td>7.7t</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>各事業の内容を今一度精査し、農家のニーズに、より合ったものに見直す必要がある。</p>		ブロッコリー	アスパラガス	生姜	H25	22.9t	16.4t	8.4t	H26	25.5t	15.4t	10.8t	H27	31.0t	17.4t	7.7t
	ブロッコリー	アスパラガス	生姜														
H25	22.9t	16.4t	8.4t														
H26	25.5t	15.4t	10.8t														
H27	31.0t	17.4t	7.7t														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出荷量			94%	61%	66%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農業振興のためには、多面的な支援が必要であり各事業の支援内容等は妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	多面的に農業者を支援することで生産意欲の向上に繋がり、生産面積の拡大、生産量の増加に繋がっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	コスト削減が可能かどうか、事業内容を精査する必要がある。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業によっては複数年にわたり同じ団体が補助を受けており、やや公平性に欠けるものもある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	各事業の内容を精査し、農家のニーズにより合ったものとなるよう、内容の見直し等を行う必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002045	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	みんなでやらいや農業支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市がらるる農家プラン事業費 補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の 目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	みんなでやらいや農業支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-32-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定農業者、任意組織、農業法人
意図 (どのような状態 にするために)	元気な農業者を育成し、農業の振興、活性化を図る
手段 (どうするのか)	ハード、ソフト事業の経費を支援

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 精米機、乾燥機等導入 経費支援	平成24年度 精米機、乾燥機等導入 経費支援	平成25年度 精米機、乾燥機等導入 経費支援	平成26年度 コンバイン、精米機、 乾燥機等機械の導入経 費支援	平成27年度 コンバイン、田植機、 農業用倉庫、乾燥機、 色彩選別機等導入経費 支援	
	年度別実績	トラクター、白ねぎ皮 剥ぎ機等の機械の導入 経費及び機械格納庫等 整備の支援	コンバイン、田植機、 精米機、乾燥機、らっ きよう選別機等の機械 の導入経費及び機械格 納庫等整備の支援	田植機、動噴、白ねぎ 皮剥ぎ機、コンプレッ サー等の機械の導入経 費及び大型ハウス、機 械格納庫整備の支援	田植機、自動選別計量 機、育苗ハウス、セル 移植機、根葉切機、苗 代助成等、種生導入 、そば種子導入、販売 促進、種こけ、育苗箱 、防草シート等栽培資 材、コンバイン	色彩選別機、イチゴ高 設栽培ハウス、キャリ ー動噴、白ねぎ皮剥き 機、根葉切り機、種生 姜、そば種子、汎用乾 燥機種こけ、育苗箱、 防草シート等栽培資材 、エコシーダー、自走 式ロールベアラー	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	28,104	25,349	18,151	10,679	17,792	
	直接経費 A	27,354	24,606	17,422	9,927	16,321	
	間接経 費の財 源内訳	国・県	18,236	16,380	11,686	6,695	10,928
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,118	8,226	5,736	3,232	5,393	
人件費 B	750	743	729	752	1,471		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業取り組み件数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			件	目標	0	0	10	10	10
			実績	0	0	6	6	8	
		(指標の説明) 本事業を活用して、農業振興に資した農家(団体)の件数							
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P151（農018）</p> <p>【事業の概要】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 補助率：ハード 県1/3 市1/6           ソフト 県1/2 市1/6</p> <p>【事業の成果】 ○がんばる農家プラン 鳥取（4件）イチゴ高設栽培用ハウス、自走式ロールベアラー他 鹿野（3件）種生姜、そば種子他 JA（1件）白ねぎ苗他 上記の事業に対し助成を行い、農業者の所得向上への取り組みと地域農業の振興を図った。 (実績) 平成25年度 17,423千円 田植機、パイプハウス、機械格納庫他 平成26年度 9,927千円 コンバイン、乗用田植機、自動選別計量機他 平成27年度 16,321千円 堆肥自動成形機、玄米用色彩選別機他</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し引き続き支援を行い、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業取り組み件数			60%	60%	80%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	意欲ある農業者に対する事業であり、適正である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農業者が自ら立てた「プラン」の目標に基づき、計画的に実施されている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業実施主体が入札等により経費削減に努めており、適正に実施している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	審査会において公平に「プラン」が審査され、採択された農業者の取り組みであるため適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し引き続き支援を行い、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図っていく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001981	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ふるさと村推進支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	ふるさと村推進事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ふるさと村推進事業費補助金		予算事業コード	01-05-01-02-03-06	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	トットリ・アフトピア協会会員、むらづくり団体、加工グループ等
意図 (どのような状態にするために)	四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。
手段 (どうするのか)	年間、1,000便以上の目標を揚げ、継続して実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成24年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成25年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成26年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成27年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	
	年度別実績	年間、1,000便の目標を目指して平成23年度は、1,141便を発送した。	年間、1,000便の目標を目指して平成24年度は、1,123便を発送した。	年間、1,000便の目標を目指して平成25年度は、1,081便を発送した。	年間、1,000便の目標を目指して平成26年度は、1,005便を発送した。	年間、1,000便の目標を目指して平成27年度は、1,150便を発送した。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,325	2,314	2,293	2,296	2,214	
	直接経費 A	1,200	1,200	1,200	1,168	1,110	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,200	1,200	1,200	1,168	1,110		
人件費 B	1,125	1,114	1,093	1,128	1,104		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	ふるさと宅配便発送数	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
					実績	1000	1000	1000	1000	1000	
	(指標の説明)	年間発送数の割合									
2				目標	0	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	0	
3				目標	0	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)											

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P143（農002）</p> <p>【事業の概要】 平成3年度から、アフトピア協会会員の生産した農林水産物や加工品を「ふるさと宅配便」として全国の家庭に届けている。四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、販売拡大によりむらづくりの活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 9割以上を県外消費者に向けて発送しており、本市と本市産品のPRに寄与している。</p> <p>■内容 ①対象者 ふるさと宅配便申込者と受取人 ②実施回数 年4回（8月、10月、12月、4月） ③宅配品目 鳥取市で生産される農林水産物及び加工品等 ④料金 1個当たり5,000円（4個ごとに1,000円割引）</p> <p>■事業実績 平成25年度 1,081個 平成26年度 1,005個 平成27年度 1,150個</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の農林水産物のPRと販売拡大を目指し、継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ふるさと宅配便発送数	114%	112%	108%	101%	115%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	とっとりふるさと宅配便は、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を全国に発送し好評である。鳥取市のPRとむらづくりの活性化を図った。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	とっとりふるさと宅配便のPRを各イベントやイベントにおける記念品、新聞掲載広報等で実施しており効果的である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業の知名度も高まり、年々個数も増加し効果的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	アフトピア協会の会員が生産し、市が認定した地元の特産物等を使用しており公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	特産品の生産販売促進のため、新商品の開発等事業の拡大を図っていく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001987	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特産品生産等むらづくり支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	特産品生産等むらづくり支援事業費補助金(廃止)→農産物生産振興対策総合支援事業費へ			予算事業コード	01-05-01-02-03-12

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の魅力ある特産品の開発、加工、販売に取り組む団体等
意図 (どのような状態にするために)	主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげ、農業振興と地域の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	特産品の開発、加工、商品化、販売拡大等の取り組みに対して支援をする。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	
	年度別実績	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。 ・取組団体 4団体	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。 ・取組団体 2団体	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。 ・取組団体 5団体	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,939	1,809	1,396	1,080	736	
	直接経費 A	1,189	1,066	667	328	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	565	329	213	123	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	624	737	454	205	0	
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	特産品等生産量、販売量の伸び率	%	目標	0	0	10	10	10	
				実績	0	0	20	10	10	
	(指標の説明) 特産品の生産・販売拡大に取り組んだ団体の生産量の伸び率									
	2				目標	0	0	0	0	0
実績					0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3					目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3237</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初事業別概要目次：当初予算・P150（農015）</p> <p>【事業の概要】 加工品づくりと販売促進に対して小規模でも取り組みやすい助成制度のニーズが高く、平成23年度から新規計上したもの。 地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援することにより、農産物の付加価値化と特産品の生産・販売拡大につなげることを目的として、農業者の所得向上と地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 ■内容 1 ①特産品の開発、加工、商品化等のための研修 ②PR活動やイベントへの出店等の販路拡大の取り組み 2 ①特産品生産のための加工用機械器具導入 ②特産品の包装容器、ラベルなどの資材等の導入 ※補助率2/3以内、30万円を補助金の上限とする。 ■事業実績 H25年度 4団体 667千円 H26年度 2団体 465千円 H27年度 5団体 744千円(見込額)</p> <p>【今後の課題・方向性】 農産物生産振興対策等総合支援事業費の事業で、平成27年度で終期を向かえるが、必要性が高く継続して実施し、特産品づくりと販売拡大による農家の所得向上とむらづくりの活性化を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	特産品等生産量、販売量の伸び率			200%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農村の魅力ある特産品や加工品の生産に主体的に取り組む妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	特産品の開発、生産技術取得のための視察や研修会を実施する必要がある。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	農村地域の特産品の開発、生産販売促進、販路拡大等の事業を行っており効果的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	農村地域の活性化を図っておりやや公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	特産品の生産等により、生きがいや連帯感が生まれていると考えており、今後もむらづくりの活性化を図るため継続して実施する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002796	重点事業区分	リープロ6	所属名	農林水産部 農業振興課	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物販路拡大支援事業					

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農産物販路拡大支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-35-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農産物、加工品等
意図 (どのような状態にするために)	本市の農産物の販路開拓、拡大に繋げる。
手段 (どうするのか)	関東、関西圏において農産物等のPR活動、市場ニーズや流通方法などの調査を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画		農産物及び加工品等を京阪神圏域に広くPRするとともに販路開拓・拡大を図る。	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR 関東での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR	
	年度別実績		農産物及び加工品等を京阪神圏域に広くPRするとともに販路開拓・拡大を図った。	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR 関東での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PRを行った。	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR 関東での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PRを行った。	平成26年度2月補正先行型地方創生交付金事業【鳥取市農産物等知名度アップ販路拡大事業】で実施し、本事業では農産物販路開拓コーディネーターの件数のみ。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	6,479	12,209	15,027	5,939	
	直接経費 A	0	5,736	8,566	11,266	2,260	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	2,425	2,190	2,140	0
	一般財源	0	3,311	6,376	9,126	2,260	
人件費 B	0	743	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	プチ・マルシェ参加生産者件数	件	目標	0	0	15	20	25
				実績	0	0	16	47	30
	(指標の説明) プチ・マルシェ事業に参加する生産者の件数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3074</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 農産物販路開拓コーディネーター1名 人件費 ※ 平成26年度2月補正先行型地方創生交付金事業【鳥取市農産物等知名度アップ販路拡大事業】で実施し、本事業では農産物販路開拓コーディネーターの人件費分のみ。</p> <p>【事業の成果】 関西圏でのマルシェの実施および関西圏の飲食店等への営業活動を実施し、飲食店との取引等、販路開拓を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 小規模な取引から大規模な取引まで、総合的な販路開拓を継続して実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	プチ・マルシェ参加生産者件数			107%	235%	120%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	販路開拓を主として行う職員1名の配置は妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	関西圏の飲食店等のニーズ調査の把握と営業活動などを通して取引を成立させており有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県外への営業活動は地道に継続的に行う必要があり、職員の配置により効率性を高めている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内の農家情報収集や育成および関西圏の幅広い業種への営業活動などを行っており、公平性は高い。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	小規模な取引から大規模な取引まで、総合的な販路開拓を継続して実施していく。		
担当課長の評価コメント			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002051	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	畜産振興事業(対策事業)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市畜産振興対策事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	畜産振興対策事業費			予算事業コード	01-05-01-04-06-14

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	肉用牛及び乳用牛
意図 (どのような状態にするために)	牛を飼養している農家の経営力の強化を図る。
手段 (どうするのか)	放牧料や配合飼料購入費等に対する支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策 啓発宣伝支援	平成24年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策 啓発宣伝支援	平成25年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策 啓発宣伝支援	平成26年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策	平成27年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策	
	年度別実績	放牧奨励 10人 肉用牛肥育経営体質強化対策 8人 肥育素牛安定導入対策 8人	放牧奨励 12人 肉用牛肥育経営体質強化対策 10人 肥育素牛安定導入対策 9人	放牧奨励 14人 肉用牛肥育経営体質強化対策 7人 肥育素牛安定導入対策 8人	放牧奨励 8人 肉用牛肥育経営体質強化対策 20人 肥育素牛安定導入対策 8人	放牧奨励 7人 肉用牛肥育経営体質強化対策 21人 肥育素牛安定導入対策 8人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,316	3,769	4,957	3,374	2,768	
	直接経費 A	2,566	3,026	4,228	2,622	2,032	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,566	3,026	4,228	2,622	2,032		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		肉用牛放牧頭数	頭	目標	0	0	120	120	120	
			実績	0	0	152	120	134		
	(指標の説明) 肉用牛の放牧頭数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234
	【9次総の施策体系】5101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P154（農024）
	【事業の概要】 優良な牛を育てる農家に対し一部助成することにより畜産振興を図り、地域ブランド「 因幡和牛」の知名度を上げ消費拡大を図ることを目的とする。 1. 肉用牛放牧奨励事業 放牧料支援 補助率：市1/10 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成。 2. 肥育素牛安定導入対策事業 補助率：市1/6 J Aが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利 息の一部を助成。 3. 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業 補助率：市1/20 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料 平均価格との差額を補填する。
	【事業の成果】 平成25年度 放牧奨励14人 肥育素牛安定導入8人 肥育牛・乳用牛経営体質強化7人 平成26年度 放牧奨励8人 肥育素牛安定導入8人 肥育牛・乳用牛経営体質強化20人 平成27年度 放牧奨励7人 肥育素牛安定導入8人 肥育牛・乳用牛経営体質強化21人
【今後の課題・方向性】 畜産農家の経営安定と、高品質な牛肉を消費者に提供できるよう今後も継続して支援を していく。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	肉用牛放牧頭数			127%	100%	112%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	畜産農家の経営安定と、畜産振興を目的としており、指標が明確である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	肉質に対する市場の評価は高まっており、徐々に価格に反映されてきている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	必要最低限の支援内容であるが、高品質の肉牛を生産し、畜産農家の収益増加にもつながってきていることから高い費用対効果が得られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	畜産農家に制度周知がされており、ほとんどの方に活用されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	高品質な牛肉を消費者に提供できるよう今後も継続して支援をしていく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002054	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	和牛再生促進事業費		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市和牛再生促進事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	和牛再生促進事業費			予算事業コード	01-05-01-04-06-19

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	和牛農家
意図 (どのような状態にするために)	和牛農家が、安心して規模拡大に取り組めるように促すとともに、効率的な経営を促進する。
手段 (どうするのか)	初期投資に対する支援をするとともに、優良雌牛の導入に対し支援。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成24年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成25年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成26年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成27年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	
	年度別実績	増頭を目的とした施設整備支援 1棟 優良雌牛導入支援 8頭	優良雌牛導入支援 6頭	増頭を目的とした施設整備支援 1棟 優良雌牛導入支援 14頭	優良雌牛導入・保留支援 28頭	優良雌牛導入・保留支援 33頭 担い手の増頭に対する緊急支援 25頭	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,196	805	2,264	1,027	13,683	
	直接経費 A	2,446	62	1,535	275	12,947	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,382	0	720	0	9,504
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	312	0	0
		一般財源	1,064	62	503	275	3,443
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		優良雌牛導入数	頭	目標	0	0	10	11	12	
			実績	0	0	14	28	33		
	(指標の説明) 肉用牛の頭数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P155（農025） 9月補正予算・P16（農002）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>畜産を取り巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の畜産経営体質を強化するとともに、和牛ブランド力をアップを図ることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 優良雌牛導入支援事業 高能力和牛雌子牛を生産者が繁殖雌牛として導入する経費を支援（補助率1/6）</li> <li>2. 優良雌牛増頭支援（県外雌牛導入支援） 優良雌牛を県外から導入する経費を支援（定額：26千円/頭）</li> <li>3. 担い手の増頭に対する緊急支援（県・市）平成27年度から 和牛の担い手等が増頭のために必要な繁殖雌牛の購入に要する経費を助成 補助率：2/3（県1/2 市1/6）</li> </ol> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 優良雌牛導入支援事業 平成25年度 12頭 平成26年度 27頭 平成27年度 20頭</li> <li>2. 優良雌牛増頭支援（県外雌牛導入支援） 平成25年度 2頭 平成26年度 1頭 平成27年度 13頭</li> <li>3. 担い手の増頭に対する緊急支援 平成27年度 25頭</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>今後も優秀な雌牛を県内に保留し、因幡和牛のブランド力を高める必要があるため事業を継続していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	優良雌牛導入数			140%	255%	275%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	畜産振興や肉質向上を目的としており、目的達成のために必要な支援を行っている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	徐々に和牛改良の成果と言える肉質が向上しており、市場の評価も高まってきているため成果が見られ始めている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市場評価が高まっていることから、枝肉の高値での取引にもつながっており費用対効果が得られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内の和牛生産農家を対象としており、農家の経営を圧迫しない程度ではあるが、ある程度の負担を強いているためほぼ公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も優秀な雌牛を県内に保留し、因幡和牛のブランド力を高める必要があるため事業を継続していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002021	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	林産物振興対策事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	林産物振興対策事業補助金交付要綱、鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林産物振興対策事業費		予算事業コード	01-05-02-02-29-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	椎茸の生産者
意図 (どのような状態にするために)	椎茸産地として持続的な発展を目指す。
手段 (どうするのか)	椎茸の種菌購入やほだ木購入等に対する支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成 ⑤さのこ王国とっとりけんフェスティバル開催費助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成 ⑤施設整備助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成 ⑤施設整備助成	
	年度別実績	①椎茸種菌購入助成 1,780袋 ②椎茸販売促進イベント活動への助成 (とっとりきのご祭り) ④新規参入者の運搬車購入助成 1台	①椎茸種菌購入助成 1,660袋 ②椎茸販売促進イベント活動への助成 (とっとりきのご祭り) ③ほだ木購入助成 500本 ④運搬車購入助成 4台 ⑤フェスティバル開催経費への助成	①椎茸種菌購入助成 1,660袋 ②椎茸販売促進イベント活動への助成 (とっとりきのご祭り)	①椎茸種菌購入助成 182袋、22シート ②椎茸販売促進イベント活動への助成 (とっとりきのご祭り) ⑤施設整備助成 1件	①椎茸種菌購入助成 187袋、3箱、22シート ②椎茸販売促進イベントへの助成 (とっとりきのご祭り) ③ほだ木購入助成 1,000本 ⑤施設整備助成 1件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,560	4,704	2,277	1,144	1,476	
	直接経費 A	1,810	3,961	1,548	392	740	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,810	3,961	1,548	392	740		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	椎茸生産量	t	目標	25	26	27	27	27
				実績	32	20	21	20	26
	(指標の説明) 乾燥椎茸、生椎茸の生産量(乾燥換算)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P167（農050）</p> <p>【事業の概要】 本市の特産品である椎茸の生産、出荷及び販売を促進することで、消費拡大及び生産者の意欲向上を図り、椎茸の生産振興を目的とする。また、新規参入者に対し支援を行うことで、椎茸産地としての持続的な発展を目指す。</p> <p>【事業の成果】 1. 鳥取いなば農協183袋、個人1名4袋3箱、個人1名22シートの種菌の購入に対し支援を行った。 2. 「とっとりきのこ祭り」の開催に要する経費に対し支援を行った。 3. 個人1名1,000本のほだ木の購入に対し支援を行った。 4. 個人1名の施設整備に要する経費に対し支援を行った。 (実績) 平成25年度 1,549千円 平成26年度 392千円 平成27年度 740千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の椎茸のさらなる生産振興と消費拡大を目指すため、事業内容の見直しや拡大を行い、生産者のニーズに沿った支援を行う必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	椎茸生産量	128%	77%	78%	74%	96%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	椎茸生産振興のため必要となる支援を実施している。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	種菌購入費や販売促進費、原木購入費、施設整備に要する経費に対し支援を行っている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	椎茸生産の振興に寄与している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	新規参入者への事業の周知を図っていく必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 椎茸産地として持続的な発展を目指すため、引き続き支援を行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002122	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	多様な担い手支援事業(集落営農)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	集落営農体制強化支援事業補助金			予算事業コード	01-05-01-06-21-04

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	集落の水田面積の過半で経営等を行う計画を有する集落営農組織
意図 (どのような状態にするために)	集落の農地を維持できる体制づくり
手段 (どうするのか)	組織が作成する計画(集落営農ビジョン)に沿った機械施設の整備等に要する経費を助成する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,299	9,034	7,182	3,352	8,584	
	直接経費 A	3,550	5,321	4,996	1,095	6,377	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,366	3,547	3,330	730	4,251
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,184	1,774	1,666	365	2,126	
人件費 B	3,749	3,713	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	集落営農ビジョン数	単位	件	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	2	2	2	2	2						
	(指標の説明) 当該年度に集落が作成した計画(集落営農ビジョン)数												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P157（農030）</p> <p>【事業の概要】 農地の荒廃、担い手の高齢化や後継者不足を改善する方法の一つとして、集落営農組織の育成及び経営発展を図る。</p> <p>【事業の成果】 機械施設整備支援 (実績) 平成25年度 4,996千円 1組織 平成26年度 1,095千円 1組織 平成27年度 6,377千円 2組織</p> <p>【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	集落営農ビジョン数	50%	100%	50%	50%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	集落の農地を守っていくため、本事業の推進によって集落営農組織の育成及び経営発展を進め、将来にわたって農地を守っていくことは必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	集落営農ビジョンの達成を目指すことで、農地集積や作業の効率化が進み集落営農組織の育成及び経営発展が図られる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	審査会を実施し、目標達成意識の高い集落組織を事業対象とすることで、効率的に事業実施されている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての集落に対して公平に情報提供されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	継続して実施し、集落営農組織の育成及び経営改善による農家の所得向上とむらづくりの活性化を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002123	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	多様な担い手支援事業(企業参入)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	企業等農業参入促進支援事業費補助金			予算事業コード	01-05-01-06-21-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	建設業等の他分野から新規参入し、農業経営の初期段階にある企業等
意図 (どのような状態 にするために)	参入時の負担を軽減し意欲的な企業等の新規参入を促進することにより担い手不足を解消するため
手段 (どうするのか)	農業用機械施設導入経費を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 農業参入企業への設備 投資費用の補助	平成24年度 農業参入企業への設備 投資費用の補助	平成25年度 農業参入企業への設備 投資費用の補助	平成26年度 農業参入企業への設備 投資費用の補助	平成27年度 農業参入企業への設備 投資費用の補助	
	年度別実績		農業参入企業への設備 投資費用の補助 (自動車販売整備会社 の菌類生産に係るパイ プハウス整備を支援)	農業参入企業への設備 投資費用の補助 (IT企業の野菜生産 に係る野菜工場整備を 支援)	農業参入企業への設備 投資費用の補助 (設備工事会社の水稻 、野菜栽培に係る作業 用機械を支援)	農業参入企業への設備 投資費用の補助 (設備工事会社の水稻 、野菜栽培に係る作業 用機械、IT企業の野 菜生産に係る野菜工場 整備を支援)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,499	2,953	16,105	4,499	11,328	
	直接経費 A	0	1,468	14,648	2,995	9,857	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	1,467	9,765	2,995	7,239
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	1	4,883	0	2,618
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指標	1	参入法人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			法人	目標	0	0	1	1	1	
			実績	0	2	1	1	2		
	(指標の説明) 他分野からの新規参入の法人数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P158（農031）</p> <p>【事業の概要】 建設業等の他分野から新規参入した企業等が農業振興に寄与することを目的とし、機械、施設の整備等を支援することによって意欲的な企業等の参入促進を図る。</p> <p>【事業の成果】 農業用機械施設整備支援し、農業参入を促進した。 (実績) 平成25年度 14,648千円 1者（野菜工場） 平成26年度 2,995千円 1者（農業用機械等） 平成27年度 9,857千円 2者（野菜工場、農業用機械等）</p> <p>【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	参入法人数			100%	100%	200%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	多面的機能を有する農業の担い手不足の解消のためには、企業の農業参入が有効であり市による促進が必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	適切な事業計画の作成や実施を促すことにより、参入企業の継続的な事業実施(農業経営)が図られる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	企業の経営により効果的に事業が実施されるとともに、農業参入による雇用も生まれている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	パンフレットやホームページ等により、すべての事業者に対し公平に情報提供されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	継続して実施し、新しい担い手(企業)の農業参入を図ることにより、地域農業の振興に活かしていく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001997	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(定住促進)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	指定管理
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	新規就農推進事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	とっとりふるさと就農舎
意図 (どのような状態にするために)	とっとりふるさと就農舎の研修生の安定的確保
手段 (どうするのか)	指定管理委託料等を交付する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,737	8,551	8,084	9,875	20,927	
	直接経費 A	7,987	7,808	7,355	9,123	20,191	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	1,900
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7,987	0	0	0	0
	一般財源	0	7,808	7,355	9,123	18,291	
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	研修生の確保数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			人	目標	3	3	3	3	3
		実績	3	4	2	2	1		
	(指標の説明) 当該年度に新規に就農舎に入る研修生数								
2		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P144（農004）</p> <p>【事業の概要】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、平成19年4月に新規就農者技術習得支援施設「とっとりふるさと就農舎」を開設し、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保を行う。</p> <p>【事業の成果】 指定管理した施設で研修を実施するとともに、就農アドバイザーを配置し新規就農者の育成に努めた。また、新規就農相談会等で就農者のPRに努め、研修生1名を確保した。 (実績) 平成25年度 7,355千円 3名就農 平成26年度 9,123千円 4名就農 平成27年度 20,191千円 2名就農</p> <p>【今後の課題・方向性】 農業者等の高齢化、減少等の問題を解決するには、新規就農者の確保が大切であることから、これまでと同水準の事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	研修生の確保数	100%	133%	67%	67%	33%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農業者等の高齢化、減少等の問題を解決するため、新規就農者を安定して確保するためには、とっとりふるさと就農舎の研修生確保に向けた積極的な支援は必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	毎年研修生を確保し、卒業後には市内へ就農している。これは、県外からの研修生を確保することにより、移住定住者の確保にもつながっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指定管理による効率的な事業実施が図られている。また、普及所などの関係機関と研修内容についての検討会の場を持つことで、効率的な運営が図られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	とっとりふるさと就農舎の積極的なPRに努めるとともに、県内外を問わず研修生を募集し、公平性を持って研修生の決定をしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な手段であり今後も継続していく。		
担当課長の評価コメント			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001998	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(定住円滑化)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	就農定住円滑化対策事業費(廃止)→新規就農推進事業費に統合			予算事業コード	01-05-01-02-10-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	とっとりふるさと就農舎等で農業体験を終えた研修生
意図 (どのような状態にするために)	円滑な就農定住と早期経営安定
手段 (どうするのか)	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成24年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成25年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成26年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成27年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	
	年度別実績	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,358	5,077	3,110	2,794	0	
	直接経費 A	2,859	3,592	1,653	1,290	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	979	862	400	334	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,880	2,730	1,253	956	0
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		認定就農者数	人	目標	4	3	4	3	4	
			実績	4	3	3	3	2		
	(指標の説明) 当該年度に新規に認定された認定就農者数(農業体験を終えた者に限る)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要：当初予算・P145（農005）</p> <p>【事業の概要】 とっとりふるさと就農舎での研修修了者の円滑な就農定住と早期経営安定のため住宅修繕、就農準備金、家賃助成した。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度実績 就農準備金支給事業 2名 400千円 家賃助成助成事業 5名 1,159千円 住宅修繕事業 2名 990千円</p> <p>平成25年度決算 1,653千円 平成26年度決算 1,290千円 平成27年度決算 2,549千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 毎年度順次卒業していく研修生に対応して、継続して事業を実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定就農者数	100%	100%	75%	100%	50%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	新規就農者の就農定住と早期経営安定を図るため、各事業は必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各事業の活用により、転出者はいない。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業実施が図られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	農業体験を終了した研修生に対し、公平に事業実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり今後も継続していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002000	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(就農応援)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が往きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	就農応援交付金事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-08

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定就農者
意図 (どのような状態にするために)	認定就農者の経営の早期安定
手段 (どうするのか)	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成24年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成25年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成26年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成27年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	
	年度別実績	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	実績なし	実績なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,394	2,394	849	0	0	
	直接経費 A	9,644	1,651	120	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,789	983	80	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,855	668	40	0	0	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		認定就農者数	人	目標	6	6	6	6	6	
			実績	5	7	8	7	5		
	(指標の説明) 当該年度に認定された認定就農者数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	3		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 新規就農者の定着を図るため、就農初期の支援策として鳥取県事業を活用して実施。認定就農者等に、経営の早期安定を図るため、就農後最長3年間、就農初期の運転資金、生活費等に活用できる使途を限定しない交付金を交付。 青年就農給付金の対象とならない者に対し、 交付額(上限)就農1年目100千円/月、2年目65千円/月、3年目40千円/月 補助対象予定 1人 120千円(補助率 県2/3、市1/3)</p> <p>【事業の成果】 平成25年度決算 1人 120千円 平成26年度決算 0人 平成27年度実績 0人</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施 ○市民ニーズの状況 就農初期は経営が安定しないため経済的な支援が必要。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定就農者数	83%	117%	133%	117%	83%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農業者等の高齢化、減少等の問題を解決するため、新規就農者を安定して確保するためには、とっとりふるさと就農舎の研修生確保に向けた積極的な支援は必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新規就農者が作成した営農計画に基づき事業を実施するとともに、事業活用により就農時の負担軽減が図られている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	青年就農給付金が活用できない認定新規就農者に給付し効率的な運営が図られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	青年就農給付金が活用できない認定新規就農者に対し、公平に事業実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり、今後も継続していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002005	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(生活体験)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農山漁村生活体験事業費(廃止)→新規就農推進事業費へ			予算事業コード	01-05-01-02-15-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業体験者
意図 (どのような状態にするために)	農業体験者が市内において就農定住
手段 (どうするのか)	農業体験者に対して滞在経費等を助成する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	
内容	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,859	10,733	12,193	11,890	2,207	
	直接経費 A	11,610	8,505	10,007	9,633	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,520	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,090	8,505	10,007	9,633	0
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		農業体験者数	人	目標	4	4	4	4	4	
			実績	3	4	3	3	4		
	(指標の説明) 当該年度に新規に農業体験を始めた者の人数									
	2	就農定住率	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	100	100	
(指標の説明) 農業体験を終えた者で当該年度に就農定住した者の割合										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 農業に関心を持つ県内外に在住する若者等が、農業を体験しながら農村地域で滞在することにより将来の就農定住と地域の活性化を図ることを目的として、とっとりふるさと就農舎と一般農家での就農研修を行っている者に対して、滞在経費・家賃・受入先の助成を行った。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度実績  研修生同伴者滞在経費助成(3万円/人/月) 7人(5世帯)  研修生家賃助成(上限5万円/月) 4人  研修生受入助成(5万円/月) 5人  平成24年度決算額 8,504千円(研修生8人)  平成25年度決算額 10,008千円(研修生9人)  平成26年度決算額 9,634千円(研修生7人)  平成27年度決算額 6,035千円(研修生5人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 新規就農者を育成・確保するため、収入のない農業体験期間中における滞在経費等の助成は必要であり、これまでと同水準の事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	農業体験者数	75%	100%	75%	75%	100%
	2	就農定住率	100%	100%	100%	100%	100%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	新規就農者を育成・確保するため、収入のない農業体験期間中における、滞在経費等の助成は必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の活用により、就農定住が図られている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	就農舎の研修生に対して実施され新規就農者育成に効率的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	とっとり農業体験事業体験者に認定された事業者に対し、公平に事業を実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保及び移住定住に有効な施策であり今後も継続していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002793	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(青年就農給付)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	新規就農営農支援事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-09

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青年就農者
意図 (どのような状態 にするために)	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る
手段 (どうするのか)	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画		就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	
	年度別実績		就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	27,005	35,964	44,559	15,664	
	直接経費 A	0	26,262	34,507	43,055	14,193	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	26,262	34,507	43,028	11,836
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	264
		一般財源	0	0	0	27	2,093
人件費 B	0	743	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	認定就農者数	人	目標	6	6	6	6	6
				実績	5	7	8	9	3
	(指標の説明) 当該年度に認定された認定就農者数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P145（農005）</p> <p>【事業の概要】 新規就農を目指す青年が、安定して研修及び就農初期の経営を行うことができるよう生活支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 37,762千円 給付対象者29人 平成26年度 43,055千円 給付対象者29人 平成27年度 14,193千円 給付対象者16人</p> <p>【今後の課題・方向性】 青年就農者の定着を図るためには、生活費等の支援が必要であり、これまでと同水準の事業を実施する。</p> <p>※その他財源の諸収入は、過年度補助金返還金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定就農者数	83%	117%	133%	150%	50%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	青年就農者の定着を図るため、経営が安定しない就農初期に、運転資金や生活費となる給付金の給付は必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本事業を実施することにより、青年就農者の経営の安定が図られ、有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	青年等就農計画認定者に給付され、新規就農者の育成に対し効率的な事業実施が図られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	青年等就農計画の認定を受けた青年就農者に対し公平に事業を実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり、今後も継続していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002111	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農地集積促進事業(流動化推進)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業経営基盤強化促進法、鳥取市農地流動化加速的推進事業助成金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農地流動化推進事業費補助金(廃止)→農地集積等対策事業費へ			予算事業コード	01-05-01-06-03-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定農業者の利用権設定
意図 (どのような状態にするために)	認定農業者の利用権設定の促進
手段 (どうするのか)	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,200	12,211	13,985	13,823	736	
	直接経費 A	10,450	11,468	13,256	13,071	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,968	3,542	4,228	3,178	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	40	0	0
		一般財源	5,482	7,926	8,988	9,893	0
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		認定農業者の利用権設定面積	ha	目標	112	112	117	117	117
	実績	130	143	165	163	163			
(指標の説明) 当該年度に認定農業者が期間3年以上の利用権設定した面積									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P156（農027）</p> <p>【事業の概要】 農地の流動化促進及び優良農地の確保を図り、認定農業者の規模拡大を増進することで、地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図る。 認定農業者が3年以上の賃借を伴う利用権設定を行った場合に10aあたり8,000円の助成金を交付。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度実績 交付対象面積 16,570.6a 平成26年度実績 交付対象面積 16,337.5a 平成27年度実績 交付対象面積 16,264.2a</p> <p>【今後の課題・方向性】 担い手への農地の集積は地域農業の振興に有効であり、継続して事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定農業者の利用権設定面積	116%	128%	141%	139%	139%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農地の流動化促進及び優良農地の確保を図るためには、認定農業者の規模拡大を増進することが必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業実施により、認定農業者への農地の集積が図られている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業が実施されている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域の担い手である認定農業者が対象であることは適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>地域農業の振興のため、中心的担い手である認定農業者への農地集積を図ることは必要で、経営安定や耕作放棄地の発生防止に資する事業であり、今後も継続して実施する。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002814	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農地集積促進事業(経営安定推進)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	戸別所得補償経営安定推進事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農地集積等対策事業費			予算事業コード	01-05-01-06-01-06

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の担い手、農業者等
意図 (どのような状態にするために)	持続可能な力強い農業を実現するため、地域・集落が抱える人と農地の問題解決を図る。
手段 (どうするのか)	地域において話し合いを進め、地域農業の中心となる担い手や担い手に集積すべき農地などを定めた、人・農地プランを作成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		農地集積を推進するため協力金を助成	農地集積を推進するため協力金を助成	地域における話し合いを行い、人・農地プランを作成する。	地域における話し合いを行い、人・農地プランを作成する。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	8,819	11,118	3,981	46,298	
	直接経費 A	0	5,106	7,475	1,724	44,091	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	5,101	7,475	1,666	32,935
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	239
		一般財源	0	5	0	58	10,917
人件費 B	0	3,713	3,643	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.50	0.50	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.50	0.50	1.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		人・農地プラン作成集落	集落	目標	0	7	7	85	7	
			実績	0	0.2	6	89	8		
	(指標の説明) 集落において話し合いを進め、人・農地プランに計画を挙げた集落数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P156（農027）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>地域の合意形成を図る人・農地プランの作成や農地集積に協力した地域・農家への協力金の支払い、担い手への賃借料助成などを行い農地の利用調整を推進していくことで、担い手不足や遊休農地など地域の抱える課題の解決に寄与することを目的とする。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>&lt;1&gt;人・農地プラン作成に係る活動（プラン作成地域 14地域 プランを作成した集落 104集落）</p> <p>決算額：平成25年度/5,090千円 平成26年度/1,680千円 平成27年度/2,627千円</p> <p>&lt;2&gt;人・農地プランに基づいて担い手への農地集積に協力した地域・農家への協力金事業</p> <p>①地域集積協力金（37.7ha）</p> <p>決算額：平成25年度/0千円 平成26年度/3,842千円 平成27年度/9,445千円</p> <p>②経営転換協力金（45戸）</p> <p>決算額：平成25年度/2,300千円 平成26年度/1,000千円 平成27年度/17,300千円</p> <p>③耕作者集積協力金（20.1ha）</p> <p>決算額：平成25年度/0千円 平成26年度/218千円 平成27年度/402千円</p> <p>&lt;3&gt;農地流動化加速的推進事業（交付対象面積 16,261.3ha）</p> <p>決算額：平成25年度/13,256千円 平成26年度/13,070千円 平成27年度/13,009千円</p> <p>&lt;4&gt;農地情報共有化事業（農地データ保守更新委託料）</p> <p>決算額：平成25年度/462千円 平成26年度/475千円 平成27年度/508千円</p> <p>&lt;5&gt;担い手経営発展支援事業（集落の法人化に対する補助金 2組織）</p> <p>決算額：平成25年度/0千円 平成26年度/0千円 平成27年度/800千円</p> <p>決算額合計：平成25年度/21,018千円 平成26年度/20,285千円 平成27年度/44,091千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>国事業に合わせて実施</p> <p>※その他財源の諸収入は、補助金返還金及び事務事業受託料</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	人・農地プラン作成集落		3%	86%	105%	114%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	人・農地プランの推進により、集落での話し合いが進み地域農業の将来を検討する良い機会となっている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実施により、地域・集落が抱える人と農地の問題解決が図られる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	担い手への農地集積や地域での集積など必要に応じ、効率的に実施している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての集落に対して、公平に情報提供している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>継続して実施し、地域の問題解決にむけての話し合いを行うことで、高齢化、後継者不足、農地の有効活用について集落内での共通認識が図られ、地域の活性化と持続可能な農業の実現を図る。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001970	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農用地利用権設定促進事業		所属名	農業委員会事務局 農業委員会事務局

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業経営基盤強化促進法
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農用地利用権設定促進事業費			予算事業コード	01-05-01-01-04-04

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農地
意図 (どのような状態にするために)	農地の流動化を促進し、担い手への利用集積を促進する。
手段 (どうするのか)	農地利用集積推進員を設置し、農地の貸し借りの希望を確認しながら、利用権設定を推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,162	2,172	2,251	2,245	2,260	
	直接経費 A	665	687	794	741	789	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	665	687	794	741	789	
人件費 B	7,497	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	1.00	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.80	0.80	0.80	0.80	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		利用権設定の件数	件	目標	900	900	900	900	900	
			実績	1241	1160	1186	1070	1141		
	(指標の説明) 利用権設定の申出件数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農地係 0857-20-3392</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 農地利用集積推進員を設置し、農地の貸し借りの希望を確認しながら利用権の設定を進める。</p> <p>【事業の成果】 農用の利用権設定を促進することにより、農地の流動化や利用集積が図られた。 利用権設定の申出件数 1,141件 利用権設定面積 田：33,942 a、畑等：5,312 a、計：39,254 a 《参考》</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">利用権設定件数</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td style="text-align: center;">1,191件</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">1,070件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">1,141件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 小規模農家等の農地を利用権設定することにより、認定農業者等の担い手に農地が集積され、農地の有効利用と経営規模の拡大が図られることから、今後も継続して実施する必要がある。</p>		利用権設定件数	平成25年度	1,191件	平成26年度	1,070件	平成27年度	1,141件
	利用権設定件数								
平成25年度	1,191件								
平成26年度	1,070件								
平成27年度	1,141件								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	利用権設定の件数	138%	129%	132%	119%	127%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農地の流動化を促進し、担い手への利用集積を図るためには継続的に実施する必要があることから妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農地利用集積推進員を通じて、農地の貸借の掘り起しを図ることにより、利用権設定の促進につながっていることから有効と考える。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の実情に詳しい農地利用集積推進員を設置することにより、農地の所有者、利用者の要望を踏まえた利用権設定の促進が図られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	小規模農家等の農地を利用権設定することにより、認定農業者等の担い手に農地が集積され、農地の有効利用と経営規模の拡大を図るものであり、また、全市域が対象となる事業であるため適切であると考えます。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>小規模農家等の農地を利用権設定することにより、認定農業者等の担い手に農地が集積され、農地の有効利用と経営規模の拡大が図られることから、今後も継続して実施する必要がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002137	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	林業担い手育成事業(福祉向上推進事業)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林業労働者福祉向上推進事業費補助金			予算事業コード	01-05-02-01-10-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業体
意図 (どのような状態にするために)	林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林整備の担い手である林業労働者を育成、確保する。
手段 (どうするのか)	(財)鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業(林業労働者の共済年金掛金の一部助成)に要する経費を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	
内容	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,860	1,818	1,914	1,983	1,989	
	直接経費 A	1,110	1,075	1,185	1,231	1,253	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,110	1,075	1,185	1,231	1,253
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	加入者数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			人	目標	230	240	240	240	270
			実績	235	233	234	240	239	
	(指標の説明) 林業労働者の共済加入者総数								
2			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P161（農037）</p> <p>【事業の概要】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を助成する。</p> <p>【事業の成果】 （財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を支援した。 （実績） 平成25年度 1,208千円 平成26年度 1,231千円 平成27年度 1,253千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	加入者数	102%	97%	98%	100%	89%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するための支援である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	共済年金掛金の一部を助成することで、林業労働者の生活安定に寄与している。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県との協調助成のため、低い費用負担での効果が期待できる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	担い手として参入した者に対し助成している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、森林整備の担い手である林業労働者を育成、確保するため支援を継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002142	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	林業担い手育成事業(雇用条件改善事業)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	林業労働者雇用条件改善事業費補助金			予算事業コード	01-05-02-01-16-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業体
意図 (どのような状態にするために)	林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、林業の担い手育成を促進する。
手段 (どうするのか)	市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対し経費の一部を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
		保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成		
年度別実績		保険料掛金助成 対象:3事業所、29人	保険料掛金助成 対象:4事業所、26人	保険料掛金助成 対象:4事業所、28人	保険料掛金助成 対象:4事業所、27人	保険料掛金助成 対象:4事業所、29人		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
事業費の内訳	事業費(A+B)		5,246	4,713	5,701	5,638	5,503	
	直接経費 A		4,496	3,970	4,972	4,886	5,503	
	直接経費の財源内訳	国・県		2,248	1,985	2,486	2,443	2,752
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		2,248	1,985	2,486	2,443	2,751		
人件費 B		750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員		0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		助成する対象者人数	人	目標	30	30	28	28	28
	実績	29	26	28	27	29			
2	(指標の説明)	林業担い手新規雇用者人数							
	目標	0	0	0	0	0	0	0	
3	実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P161（農038）</p> <p>【事業の概要】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件を改善し、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。</p> <p>【事業の成果】 健康保険・農林年金の事業主負担の一部を助成した。 (実績) 平成25年度 4,972千円 28人 平成26年度 4,886千円 27人 平成27年度 5,503千円 29人</p> <p>【今後の課題・方向性】 雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため支援を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	助成する対象者人数	97%	87%	100%	96%	104%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	林業労働者を育成確保するため県と協調・助成しており、市として一部負担することは妥当。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	健康保険、年金の事業主負担の一部を助成することで、林業労働者の雇用条件改善に寄与している。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県との協調助成のため、低い費用での効果が期待できる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	林業労働者全般に寄与するものであり、林業事業体の負担割合は他事業と比較しても適正。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため支援を継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002188	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業担い手育成事業(雇用促進)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁業研修事業費			予算事業コード	01-05-03-02-33-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行う漁業者等
意図 (どのような状態にするために)	漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者を雇用し、漁労技術等の研修を実施することにより、新規就労者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。
手段 (どうするのか)	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成24年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成25年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成26年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成27年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	
	年度別実績	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 11名	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 9名	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 10名	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 14名	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 5名	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,316	12,890	9,153	24,436	5,485	
	直接経費 A	9,817	11,405	7,696	22,932	4,014	
	直接経費の財源内訳	国・県	9,605	10,678	6,939	20,616	3,574
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	212	727	757	2,316	440
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	助成する対象者人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			人	目標	1	1	5	5	5	
			実績	11	9	10	14	5		
	(指標の説明) 新規漁船員(研修生)雇用者数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P173（農062）</p> <p>【事業の概要】 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な経費を県と連携して助成する。</p> <p>【事業の成果】 1. 必要な経費を助成することで、新規就業者の円滑な確保と雇用機会の創出に寄与した。 2. 過去の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業費</th> <th>研修者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>7,696千円</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>22,932千円</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>4,014千円</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。</p>		事業費	研修者	平成25年度	7,696千円	10名	平成26年度	22,932千円	14名	平成27年度	4,014千円	5名
		事業費	研修者										
平成25年度	7,696千円	10名											
平成26年度	22,932千円	14名											
平成27年度	4,014千円	5名											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	助成する対象者人数	1100%	900%	200%	280%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	高率な補助でなく、時代性に適合しており、目的も希薄化していない。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の専門性からあまり制限を設けず、対象団体の裁量に委ねている。また、対象団体の財務状況に余裕はない。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的で、国、県、他部局に類似の制度なし。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特定の者に有利になるものでなく、時期による制限もない。補助対象もこれ以下されておらず、受益者に応分の負担もある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、事業を継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002189	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業担い手育成事業(担い手育成)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁業担い手育成研修事業費補助金			予算事業コード	01-05-03-02-33-06

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	漁業の担い手育成研修を実施する漁業協同組合に対して、担い手研修に必要な経費（指導料、漁業作業演習費）を助成する。
意図 (どのような状態にするために)	漁業就業者の減少と高齢化の進行による沿岸漁業の衰退を防ぎ、若年層の漁業への新規参入を促進し、漁業の健全な発展及び漁業生産力の増大を図る。
手段 (どうするのか)	漁業就業者の確保を目的とし、漁業の専門経営を目指す50歳未満の漁業未経験者に対し、就労に必要な専門的技術、知識の取得を図るための指導に必要な経費に対し助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 指導料、漁業作業演習費	平成24年度 指導料、漁業作業演習費	平成25年度 指導料、漁業作業演習費	平成26年度 指導料、漁業作業演習費	平成27年度 指導料、漁業作業演習費	
	年度別実績	研修生 4名	研修生 4名	研修生 2名	研修生 1名	研修生 1名	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,106	1,041	729	752	1,049	
	直接経費 A	1,356	298	0	0	313	
	直接経費の財源内訳	国・県	678	149	0	0	156
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	678	149	0	0	157	
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	研修人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			人	目標	1	1	2	2	2	
			実績	4	4	2	1	1		
	(指標の説明) 助成事業による新規の漁業作業研修者人数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P174（農063）</p> <p>【事業の概要】 漁業の専門経営を目指す50歳未満の漁業未経験者に対し、就業に必要な専門的な技術、知識の習得を図るための指導に必要な経費（指導料、研修環境整備費用）に対し県と連携して助成する。</p> <p>【事業の成果】 必要な経費の助成により、担い手となる漁業未経験者の就業が期待され、水産業の振興に寄与した。 (実績) 平成25年度 0千円 研修人数 2人 平成26年度 0千円 研修人数 1人 平成27年度 313千円 研修人数 1人</p> <p>【今後の課題・方向性】 広く担い手を確保するための広報活動が必要。 本市における水産業の振興のため、県と連携し事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	研修人数	400%	400%	100%	50%	50%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	高率な補助でなく、時代性に適合しており、目的も希薄化していない。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の専門性からあまり制限を設けず、対象団体の裁量に委ねている。また、対象団体の財務状況に余裕はない。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的で、国、県、他部局に類似の制度なし。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特定の者に有利になるものでなく、時期による制限もない。補助対象も固定化されておらず、受益者による応分の負担がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	広く担い手を確保するための広報活動が必要。 本市における水産業の振興のため、県と連携し事業を継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002167	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業振興事業(淡水魚放流)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	水産資源維持増殖事業費			予算事業コード	01-05-03-02-01-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	淡水魚放流事業を実施する千代川漁業協同組合
意図 (どのような状態にするために)	千代川水系に稚鮎等を放流することにより、水産資源の増殖を行い、漁業者の所得の向上等を実現し、内水面漁業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	稚鮎等を放流する千代川漁業協同組合に補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	稚鮎放流	稚鮎放流	稚鮎放流 溪流魚放流	稚鮎放流 溪流魚放流	稚鮎放流 溪流魚放流	
	年度別実績	稚鮎放流 4,490kg	稚鮎放流 4,220kg	稚鮎放流 3,830kg他	稚鮎放流 3,570kg他	稚鮎放流 3,570kg他	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,892	13,695	12,691	12,534	12,338	
	直接経費 A	13,142	12,952	11,962	11,782	11,602	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	6,440	6,345	5,850	5,760	5,670
	一般財源	6,702	6,607	6,112	6,022	5,932	
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	放流量	t	目標	4	4	4	4	4
			実績	4.49	4.22	3.83	3.57	3.57	
	(指標の説明) アユ放流量								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P168（農051）</p> <p>【事業の概要】 水産資源の再生産及び鮎の天然遡上の増大を図る事業に対して助成。</p> <p>【事業の成果】 放流事業に対し助成することで、水産資源の増殖等に寄与した。 (実績) 平成25年度 11,962千円 放流量 3.83 t 平成26年度 11,782千円 放流量 3.57 t 平成27年度 11,602千円 放流量 3.57 t</p> <p>【今後の課題・方向性】 放流にかかる効果を把握するため効率的な手法の検討を要する。 千代川流域の内水面漁業振興、地域振興のため事業を継続する。</p> <p>※その他財源の諸収入は、鳥取市水道局負担金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放流量	112%	106%	96%	89%	89%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	時代性に適合し、広い地域に還元する事業であり、目的も希薄化していない。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の専門性からあまり制限を設けず、対象団体の裁量に委ねている。また、対象団体の財務状況に余裕はない。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的で、国、県、他部局に類似の制度なし。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特定の者に有利になるものでなく、時期による制限もない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	放流による漁獲効果を把握するため効率的な手法の検討を要するものの、水産資源の維持・増殖には重要な対策である。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002179	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業振興事業(稚貝放流)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	栽培漁業推進支援事業費			予算事業コード	01-05-03-02-22-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	稚貝放流を実施する鳥取県漁業協同組合
意図 (どのような状態にするために)	稚貝等を放流することにより水産資源の維持増殖を図り水産業の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	稚貝放流を実施する鳥取県漁業協同組合に対して稚貝購入経費を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	稚貝放流 サザエ 53,000個 アワビ 26,500個 イワガキ 1,200個 バイ 21,300個	稚貝放流 サザエ 51,000個 アワビ 26,500個	稚貝放流 サザエ 51,000個 アワビ 26,500個 イワガキ 1,000個 バイ 30,000個	稚貝放流 サザエ 68,000個 アワビ 25,500個 イワガキ 1,000個 バイ 30,000個 ワカメ 100m	稚貝放流 サザエ 28,000個 アワビ 14,700個 イワガキ 1,000個	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,510	1,430	1,529	1,561	1,249	
	直接経費 A	760	687	800	809	513	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	760	687	800	809	513		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	放流量	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明) 稚貝放流量	千個	目標	0	0	100	100	100
	実績	0	0	108.5	124.5	43.7			
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 水産資源の維持増殖のための稚貝等放流事業へ県と連携して助成。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1. 事業への助成により、水産資源の維持増殖、水産業の発展に寄与した。</p> <p>2. 過去の推移</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>放流量</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>800千円</td> <td>109千個</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>809千円</td> <td>125千個</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>514千円</td> <td>44千個</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。</p>		事業費	放流量	平成25年度	800千円	109千個	平成26年度	809千円	125千個	平成27年度	514千円	44千個
		事業費	放流量										
平成25年度	800千円	109千個											
平成26年度	809千円	125千個											
平成27年度	514千円	44千個											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放流量			109%	125%	44%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	高率な補助でなく、時代性に適合し、広い地域に還元する事業であり、目的も希薄化していない。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の専門性からあまり制限を設けず、対象団体の裁量に委ねている。また、事業結果と成果が直結しており、対象団体の財務状況に余裕はない。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的で、国、県、他部局に類似の制度なし。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特定の者に有利になるものでなく、時期による制限もない。受益者による応分の負担がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002186	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業振興事業(漁業振興対策)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁業振興対策事業費補助金			予算事業コード	01-05-03-02-33-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池漁業協同組合
意図 (どのような状態にするために)	内水面漁業における魚種苗放流事業等を行い水産資源を維持増殖し本市水産業の振興を図るとともにレクリエーション機会の増大に寄与する。
手段 (どうするのか)	内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業の費用や組合の活動の支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	稚魚放流等	稚魚放流等	稚魚放流等	稚魚放流等	稚魚放流等	
	年度別実績	稚魚放流等 アマサギ卵 1000万粒 ウナギ稚魚 30kg シジミ 300kg	稚魚放流等 アマサギ卵 500万粒 ウナギ稚魚 30kg シジミ 430kg	稚魚放流等 アマサギ卵 500万粒 ウナギ稚魚 30kg	稚魚放流等 アマサギ卵 1000万粒 ウナギ稚魚 30kg シジミ 200kg	稚魚放流等 アマサギ卵 200万粒 ウナギ稚魚 30kg シジミ 262kg	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,350	1,343	1,317	1,864	1,175	
	直接経費 A	600	600	588	1,112	439	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	256	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	600	600	588	856	439
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	放流量	kg	目標	330	300	300	300	300
				実績	330	460	30	230	292
	(指標の説明) 魚類放流量								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P173（農061）</p> <p>【事業の概要】 湖山池漁協が行うウナギ・シジミ等の稚魚放流に要する経費に対する助成。</p> <p>【事業の成果】 稚魚放流に要する経費を助成することにより、水産資源の維持増殖及び市民レクリエーション機会の増大に寄与した。 (実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業費</th> <th>ウナギ放流</th> <th>シジミ放流</th> <th>ワカサギ放流</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>588千円</td> <td>30kg</td> <td>0kg</td> <td>500万粒</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>1,112千円</td> <td>30kg</td> <td>200kg</td> <td>1,000万粒</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>439千円</td> <td>30kg</td> <td>262kg</td> <td>200万粒</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 稚魚放流に対する効率的な効果手法の検討を要する。 湖山池における水産業振興及び市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。</p>		事業費	ウナギ放流	シジミ放流	ワカサギ放流	平成25年度	588千円	30kg	0kg	500万粒	平成26年度	1,112千円	30kg	200kg	1,000万粒	平成27年度	439千円	30kg	262kg	200万粒
		事業費	ウナギ放流	シジミ放流	ワカサギ放流																
平成25年度	588千円	30kg	0kg	500万粒																	
平成26年度	1,112千円	30kg	200kg	1,000万粒																	
平成27年度	439千円	30kg	262kg	200万粒																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放流量	100%	153%	10%	77%	97%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	時代性に適合し、広い地域に還元する事業であり、目的も希薄化していない。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の専門性からあまり制限を設けず、対象団体の裁量に委ねている。また、対象団体の財務状況に余裕はない。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的で、国、県、他部局に類似の制度なし。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特定の者に有利になるものでなく、時期による制限もない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>稚魚放流に対する効率的な効果手法の検討を要する。 湖山池における水産業振興及び市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002061	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(山上・水根地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-22

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 整備計画策定(山上・水根地区)	平成24年度 測量、地質調査	平成25年度 工事用道路設置	平成26年度 ため池改修工事1箇所	平成27年度 ため池改修工事1箇所	
	年度別実績	整備計画策定(山上・水根地区)	測量、地質調査	馬場堤工事用道路設置	馬場堤改修工事 湯坂谷池測量設計	ため池改修工事1箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,754	743	3,368	4,032	1,536	
	直接経費 A	2,004	0	2,639	3,280	800	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	1,700	2,500	600
		その他	0	0	330	410	100
		一般財源	2,004	0	609	370	100
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		整備済ため池数	箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	0	1	1		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P178（農071）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>河原町山上及び水根に所在する5箇所のため池に対する総合整備計画を策定したが、このうち要改修と判断された2ため池を改修する。要改修と判断された馬場堤（山上地区）及び湯坂谷池（水根地区）は、取水施設の老朽化が著しく取水管理が困難になっており、馬場堤にあつては相当量の漏水、湯坂谷池については漏水に起因した堤体陥没が発生しており、早急な改善措置を行う必要がある。</p> <p>山上・水根地区地域ため池総合整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 鳥取県</li> <li>・事業年度 平成24年度～平成28年度</li> <li>・事業箇所 河原町山上地区：馬場堤 河原町水根地区：湯坂谷池</li> <li>・総事業費 176,000千円</li> <li>・負担区分 国55% 県29% 市14%（起債充当率90%）地元2%</li> <li>・事業内容 ため池改修2箇所</li> <li>・受益戸数 74戸（馬場堤：73戸、湯坂谷池31戸）</li> <li>・受益面積 16ha（馬場堤：15ha、湯坂谷池：7ha）</li> </ul> <p>&lt;平成27年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 17,000千円</li> <li>・事業内容 湯坂谷池工事用道路、ハザードマップ作成</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>平成25年度 1,951千円（市・地元負担金）</p> <p>平成26年度 3,280千円（ " " ）</p> <p>平成27年度 800千円（ " " ）</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>万が一、ため池が決壊した場合、下流の農地、農業用施設、民家等の被災が想定されるため、ハザードマップの活用等により有事の備えが必要となる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済ため池数				100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の農林事業でため池は重要な位置を占める。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生産性が向上する。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	環境整備により営農に対する意欲が向上する。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	適正な額であり、負担の意思があれば事業化の検討が可能。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	ため池の決壊による人命、財産、農地等の被害を未然に防ぐ為、早急な整備を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002062	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(鹿野・今市地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成27年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-23

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 整備計画策定(鹿野・今市地区)	平成24年度 測量と地質調査、登記	平成25年度 ため池改修工事1箇所	平成26年度 ため池改修工事1箇所	平成27年度 ため池改修工事1箇所	
	年度別実績	整備計画策定(鹿野・今市地区)	測量と地質調査、登記	ため池(馬ノ池)改修工事、登記	糸録池測量設計	ため池改修工事1箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,862	743	11,582	1,306	9,839	
	直接経費 A	2,112	0	10,853	554	9,103	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	8,500	200	7,100
		その他	0	0	1,357	69	1,138
		一般財源	2,112	0	996	285	865
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	整備済ため池数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	1	1	1		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P178（農072）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>平成23年度に地域に所在する複数のため池を対象に防災・減災を核とした事業を実施する「地域ため池総合整備事業」が鳥取県で策定され、鹿野町鹿野地区の糸録池、今市地区の馬ノ池は漏水や取水施設の老朽化が著しく、要改修と判断された。</p> <p>鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 鳥取県</li> <li>・事業年度 平成24年度～平成27年度</li> <li>・事業箇所 鹿野町鹿野地区：糸録池 鹿野町今市地区：馬ノ池</li> <li>・事業費 166,000千円</li> <li>・負担区分 国55% 県29% 市14% 地元2%</li> <li>・事業内容 ため池改修2箇所（糸録池・馬ノ池）</li> <li>・受益 戸数：82戸（糸録池33戸、馬ノ池49戸） 面積：39.8ha（糸録池17.0ha、馬ノ池22.8ha）</li> </ul> <p>&lt;平成27年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 64,600千円</li> <li>・事業内容 糸録池ため池改修工事、ハザードマップ作成</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>平成25年度 10,766千円（市・地元負担分）</p> <p>平成26年度 121千円（ " " ）</p> <p>平成27年度 9,103千円（ " " ）</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>万が一のため池決壊を想定し、ハザードマップ等を利用して有事の備えをする。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済ため池数				100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の農林行政でため池は重要な位置を占める。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生産性が向上する。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	環境整備により営農に対する意欲が向上する。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	適正な額であり、負担の意思があれば事業化の検討が可能。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度改修完了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	003013	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(河原町三谷地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	河原町三谷地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-25

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		整備計画策定(河原町三谷地区)	実施設計、土質調査	ため池改修工事1箇所	ため池改修工事1箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,531	1,022	14,256	
	直接経費 A	0	0	2,802	270	13,520	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	2,200	200	10,600
		その他	0	0	350	34	1,695
		一般財源	0	0	252	36	1,225
	人件費 B	0	0	729	752	736	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	整備済ため池数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	0	1	1		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整理係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P179（農074）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>河原町三谷地区に2箇所のため池があり、このうち追作堤は漏水、堤体周辺の法面浸食及び陥没がみられ、堤体の老朽化が進行している。古池は漏水もみられ、取水施設は下段部が閉塞している。この2箇所のため池は施設の老朽化が著しく早期に改善措置を行う必要がある。</p> <p>「地域ため池総合整備事業」は地域全体の防災安全度を効率的かつ効果的に向上させること等を目的に、地域に所在する複数のため池を対象に「地域ため池総合整備計画」を作成し、主として防災・減災を核とした事業を実施するものであり、この中で、追作堤、古池の整備事業計画を作成し、早急な整備実施を図っていくようとするものである。</p> <p>三谷地区地域ため池総合整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 鳥取県</li> <li>・事業年度 平成25年度～平成28年度</li> <li>・河原町三谷地区：追作堤、古池</li> <li>・事業費 183,000,000円</li> <li>・負担区分 国55% 県29% 市14%（起債充当率90%）地元2%</li> <li>・事業内容 ため池改修2箇所 ハザードマップ作成2箇所</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>平成25年度 2,802千円（市・地元負担分）</p> <p>平成26年度 270千円（ " " ）</p> <p>平成27年度 13,520千円（ " " ）</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>万が一ため池が決壊した場合を想定し、ハザードマップ等の活用により有事に備える。</p> <p>※その他財源の諸収入は県からの返還金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済ため池数				100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の農林事業でため池は重要な位置を占める。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生産性が向上する。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	環境整備により営農に対する意欲が向上する。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	適正な額であり、負担の意思があれば事業化の検討が可能。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	ため池の決壊による人命、財産、農地等の被害を未然に防ぐ為、早急な整備を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	003014	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(因幡白兔地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	因幡白兔地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-26

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		整備計画策定(小沢見、白兔地区)	実施設計、土質調査	ため池改修工事1箇所	ため池改修工事1箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,125	6,436	2,338	
	直接経費 A	0	0	2,396	5,684	1,602	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	1,800	4,400	1,200
		その他	0	0	300	711	200
		一般財源	0	0	296	573	202
人件費 B	0	0	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	整備済ため池数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	0	1	1		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P180（農075）</p> <p>鳥取市小沢見、白兔及び御熊にある三反田池ほか2箇所のため池は長年、補修、補強等が行われ、適切な利用が行われてきたが、漏水、取水施設の不全等があり施設の老朽化は著しく、地元で対応できる範疇を超える状態となっているため、緊急にため池改修が必要とされる。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>因幡白兔地区地域ため池総合整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 鳥取県</li> <li>・事業年度 平成25年度～平成28年度</li> <li>・事業箇所 小沢見（堂出池）、白兔（三反田池）、御熊（岡ノ谷溜池）</li> <li>・事業費 193,000千円</li> <li>・負担区分 国55% 県29% 市14%（起債充当率90%） 地元2%</li> <li>・事業内容 ため池改修2箇所（三反田池、堂出池） ハザードマップ作成3箇所（三反田池、堂出池、岡ノ谷溜池）</li> </ul> <p>&lt;平成27年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 23,000千円</li> <li>・事業内容 堂出池工事用道路、ハザードマップ作成</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>平成25年度 2,396千円（市・地元負担分）</p> <p>平成26年度 5,684千円（        "        ）</p> <p>平成27年度 1,366千円（        "        ）</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>万が一、ため池が決壊した場合、直下流の水田、主要地方道、JR山陰本線等が被災することが想定される。作成したハザードマップを活用し、日頃から有事に備える事が必要。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	整備済ため池数				100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の農林事業でため池は重要な位置を占める。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生産性が向上する。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	環境整備により営農に対する意欲が向上する。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	適正な額であり、負担の意思があれば事業化の検討が可能。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	ため池の決壊による、人命、財産、農地等の被害を未然に防ぐ為、早急な整備を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	003015	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農業水利施設保全合理化事業(大口堰)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成29年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業水利施設保全合理化事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	水利用調整事業(経済対策)			予算事業コード	01-05-01-05-55-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用水利施設
意図 (どのような状態にするために)	大口堰の水利用・水管理の効率化、安全性向上を実現するため。
手段 (どうするのか)	県営事業により、農業用水利施設の老朽箇所等の、設計、改修工事等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			調査	測量設計・改修工事	改修工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,190	1,714	953	
	直接経費 A	0	0	8,190	962	217	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	4,095	0	0
		地方債	0	0	4,000	800	100
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	95	162	117
人件費 B	0	0	0	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	%	指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	0	0	0	9.6	20
	実績	0	0	0	2.6	3.1			
(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P181(農077)</p> <p>【事業の概要】 大口堰農業水利施設保全合理化事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成26年度～平成29年度 ・事業箇所 大口堰 ・事業費 376,700千円 ・負担区分 国50% 県27.5% 市10% (起債充当率90%) 地元12.5% ・事業内容 頭首工 土砂吐改修 自動転倒ゲートW10m×H1.9m</p> <p>【事業の成果】 (市・地元負担分) 平成26年度 996千円 測量設計 (翌年度繰越額 1,405千円 測量設計) 平成27年度 217千円 測量設計</p> <p>【今後の課題・方向性】 県の計画に沿って事業継続を行い、水利施設の保全合理化を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率				27%	16%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農地維持のため必要。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	取水が確実に行えるようになり、生産性が向上する。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県事業で実施するため、市の事務量は僅かであり効率的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	受益者から相応の負担を得ることとしており公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	事業継続を行い、水利施設の保全合理化を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	003016	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農業水利施設保全合理化事業(今在家地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業水利施設保全合理化事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	今在家地区農業水利施設保全合理化事業費			予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用水利施設
意図 (どのような状態にするために)	農業用水利施設(樋門、用水路等)の改修整備を行い、農地を保全し水利利用の合理化、水利用・水管理の省力化を行う。また担い手への農地の集積を促進する。
手段 (どうするのか)	県営事業により、農業用水利施設の老朽箇所等の、設計、改修工事等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			基本調査	測量設計	改修工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	752	6,210	
	直接経費 A	0	0	0	0	5,474	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	2,800
		その他	0	0	0	0	2,346
		一般財源	0	0	0	0	328
人件費 B	0	0	0	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	0	15	57.5
			実績	0	0	0	17	36	
		(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P180（農076）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>国は水利用・水管理の効率化・省力化を図るため、水路の再編・パイプライン化等を推進し、地域の中心となる経営体への農地集積を加速するため平成25年度から農業水利施設保全合理化事業を創設する。鳥取県はこれを受け河原町今在家地内で水利用の合理化を目的として事業を施行する。本市はこれに伴う負担金を支出する。</p> <p>○今在家地区農業水利施設保全合理化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 鳥取県</li> <li>・事業年度 平成26年度～平成29年度</li> <li>・事業箇所 高瀬堰</li> <li>・事業費 121,000千円</li> <li>・負担区分 国55% 県27.5% 市10% (起債充当率90%) 地元7.5%</li> <li>・負担按分 (鳥取市：八頭町＝85.7%：14.3%)</li> <li>・事業内容 樋門改修</li> </ul> <p>&lt;平成27年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 40,000千円</li> <li>・事業内容 樋門改修工事</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>H26年度 2,099千円 (市・地元負担分)</p> <p>H27年度 5,475千円 ( " )</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>費用対効果を向上させるため、農地の区画拡大等の事業も合わせて取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率				113%	63%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農地維持のためには樋門の整備は必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	取水が確実にいえるようになり、生産性が向上する。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	環境の整備によりに営農に対する意欲が向上する。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	適正な額であり、負担の意思があれば事業化の検討が可能。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	費用対効果を向上させるため、農地の区画拡大等の事業も合わせて取り組む必要がある。		
担当課長の評価コメント			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	003017	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農業基盤整備促進事業		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	農業基盤整備促進事業実施要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	外部委託
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農業基盤整備促進事業費			予算事業コード	01-05-01-05-56-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用施設（農道、かんがい施設、ほ場など）
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化した農業用施設のきめ細かな整備、大型機械等への対応等とおして農業の省力化、効率化、合理化を図る。またこれらにより生産性の向上、高収益作物の作付けを促し、もって農地集積率の向上、農業競争力を強化する。
手段 (どうするのか)	必要に応じて施設整備工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			用排水路工事2箇所	用排水路工事9箇所	用排水路工事4箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	16,814	37,156	43,861	
	直接経費 A	0	0	9,529	29,634	36,504	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	5,769	19,512	25,683
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	912	4,562	6,095
		一般財源	0	0	2,848	5,560	4,726
	人件費 B	0	0	7,285	7,522	7,357	
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		整備済農業用施設	箇所	目標	0	0	12	9	4	
			実績	0	0	2	9	6		
	(指標の説明) 農業用施設等整備事業により工事完了した農業用施設等の箇所数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P183（農081）</p> <p>【事業の概要】 地域の農業において重要な役割を果たしている農業用施設について、老朽化施設の更新、用排水施設の増設等の農業水利施設の整備、暗渠排水等の農地の整備をきめ細かく実施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに経営規模の拡大や、戦略作物・地域振興作物の生産を促進し農業所得の向上にも資する。  (6法地域) 負担区分 国55% 県15% 地元15% 市15%  (6法地域以外) 負担区分 国50% 県15% 地元20% 市15%</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 5,230千円 用水改修2箇所  平成26年度 26,046千円 用水改修4箇所 測量設計1箇所  平成27年度 27,604千円 用水改修4箇所 測量設計3箇所 ほ場改修2箇所</p> <p>【今後の課題・方向性】 市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部営農活動に支障が出ている箇所もある。今後も老朽化箇所の改修を年次ごとに実施してゆく必要がある。実施箇所を検討しながら農業基盤の整備により農業生産活動の安定化を図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済農業用施設			17%	100%	150%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か  ・対象と意図は現行でよいか  ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農業の効率化を行う事業であり妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか  ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農地の区画拡大や用排水路の整備が進んでいる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か  ・高い費用対効果が得られているか  ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	手間が掛かるため地元主導での事業が進捗しづらい。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か  ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	受益者の負担がないため、あまり公平ではない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も老朽化箇所の改修を年次ごとに実施して行く必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002113	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域等直接支払事業(交付金)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成31年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	中山間地域等直接支払交付金実施要領
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中山間地域等直接支払交付金			予算事業コード	01-05-01-06-04-02

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中山間地域等において集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う集落協定に交付する交付金
意図 (どのような状態にするために)	条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払いを実施することにより、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。
手段 (どうするのか)	協定の締結、履行確認、交付金の交付などを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成24年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成25年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成26年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成27年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	
	年度別実績			集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	110,708	111,914	115,270	115,491	106,681	
	直接経費 A	110,708	111,914	111,627	111,730	103,002	
	直接経費の財源内訳	国・県	81,627	82,190	82,295	82,368	75,891
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	427	0	0	0
	一般財源	29,081	29,297	29,332	29,362	27,111	
人件費 B	0	0	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	協定数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			協定	目標	0	0	142	142	129	
			実績	0	0	142	142	129		
	(指標の説明) 取り組み団体の協定数									
	2	対象農用地面積	ha	目標	0	0	774	778	748	
				実績	0	0	775	776	748	
(指標の説明) 対象農用地の保全面積										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P186（農087）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。</p> <p>&lt;対象地域&gt;</p> <p>特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地（田1/20以上、畑15度以上）及び急傾斜に物理的に連担する緩傾斜（田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上）で面的まとまりのある農用地等。</p> <p>&lt;対象者&gt;</p> <p>集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う農業者。</p> <p>&lt;事業実施期間&gt;</p> <p>平成27年度より5年間</p> <p>【事業の成果】</p> <p>平成25年度 111,627千円</p> <p>平成26年度 111,730千円</p> <p>平成27年度 103,002千円 129協定</p> <p>（三法地域：国50% 県25% 市25%）</p> <p>（知事特認地域：国33% 県33% 市34%）</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>中山間地域で農業生産活動を行う農業者を支援することで、農業生産活動の継続と耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	協定数			100%	100%	100%
	2	対象農用地面積			100%	100%	100%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中山間地域の耕作不利条件を抱える農業の担い手への補助であり妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	緩やかではあるものの、耕作放棄地増加の抑制に効果が認められる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	五カ年が一つの採択期間であるため、期間内の基準等変更は行えない。それ以外の項目については妥当である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地元負担については、農地環境保全や個人の所得補償の側面から考えると負担金を課すべきではないため、受益者負担は適正でありサービスの公平性は保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 広組織への再編、広域化を促し、中山間地域農業の保全を図る。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001967	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	耕作放棄地再生推進事業		所属名	農業委員会事務局 農業委員会事務局

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 平成30年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	耕作放棄地緊急対策実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	耕作放棄地再生推進事業費			予算事業コード	01-05-01-01-03-10

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	貸借等により耕作放棄地を解消しようとする農業者・団体
意図 (どのような状態にするために)	農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図る。
手段 (どうするのか)	耕作放棄地を再生利用する取り組みやこれに付帯する施設等の整備に対して助成し、農地再生に係る引き受け手の初期投資の軽減を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,599	10,756	9,212	8,766	7,724	
	直接経費 A	2,102	3,330	1,927	1,244	367	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,102	3,330	1,927	1,244	367	
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	7,357		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		解消した耕作放棄地の面積	a	目標	300	500	300	300	300
			実績	300	617	416	204	146	
			(指標の説明) 助成により再生利用されることになった農地面積						
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)							
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-20-3393</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要書目次：当初予算・P275（各種011）</p> <p>【事業の概要】 耕作放棄地を再生・利用する取り組みやこれに付随する施設の整備等に対し、国の「耕作放棄地再生利用緊急対策事業」と一体的に補助金を交付し、農地の再生・利用するための初期投資の軽減を図る。</p> <p>【事業の成果】 耕作放棄地を再生・利用する取り組みに対して支援を行い、耕作放棄地の再生を図った。</p> <p>再生面積（平成27年度） 146 a          ・再生作業（草刈、抜根等） 5件          ・土壌改良（1回目） 2件          ・営農定着（作付等） 1件</p> <p>《参考》</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>取組主体数</th> <th>再生筆数</th> <th>再生面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>17</td> <td>33筆</td> <td>416 a</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>9</td> <td>13筆</td> <td>204 a</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>8</td> <td>13筆</td> <td>146 a</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 国庫補助事業が平成30年度で終了するため、その後の事業展開を検討する必要がある。</p>		取組主体数	再生筆数	再生面積	平成25年度	17	33筆	416 a	平成26年度	9	13筆	204 a	平成27年度	8	13筆	146 a
		取組主体数	再生筆数	再生面積													
平成25年度	17	33筆	416 a														
平成26年度	9	13筆	204 a														
平成27年度	8	13筆	146 a														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	解消した耕作放棄地の面積	100%	123%	139%	68%	49%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	耕作放棄地が増大する現状において、耕作放棄地の解消を目指す取り組みは大変重要であり、妥当であると考える。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	耕作放棄地を再生利用する取り組みやこれに付随する施設等の整備に対して助成することで、耕作放棄地を解消しようとする農業者等の初期投資の軽減が図られており、有効と考える。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国事業と一体的な助成とすることで資源投入が最小限で抑えられていると考えており、効率性が高いと考える。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耕作放棄地を解消しようとする農業者等を対象としており公平であると考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	農業生産の基盤であるかけがえのない農地を保全し、地域農業を振興してゆくためには、農地の耕作放棄地化の防止と解消を目指す必要があることから継続して実施する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002153	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	造林事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	造林事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林施業がおくられて林地の荒廃が進んでいる森林
意図 (どのような状態にするために)	適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	間伐、竹林整備、クヌギ造林などを支援し、森林整備を進める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	間伐240.8ha 竹林樹種転換51.8ha クヌギ造林2.0ha	間伐240ha 竹林樹種転換55ha クヌギ造林2.5ha	間伐300ha 竹林樹種転換30ha クヌギ造林20ha	間伐300ha 竹林樹種転換30ha クヌギ造林20ha	間伐300ha 竹林樹種転換30ha クヌギ造林20ha	
	年度別実績	間伐 122.45ha 竹林樹種転換 19.79h a クヌギ造林 0.18ha	間伐 143.98ha 竹林樹種転換 42.25h a クヌギ造林 22.35ha	間伐 161.11ha 竹林樹種転換 25.54h a クヌギ造林 27.12ha	間伐 203.48ha 竹林樹種転換 21.79h a クヌギ造林 29.74ha	間伐 249.44ha 竹林樹種転換 29.50h a クヌギ造林 40.71ha	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,627	21,298	23,189	26,510	29,723	
	直接経費 A	8,379	16,100	18,089	21,245	24,573	
	直接経費の財源内訳	国・県	21	0	0	0	0
		地方債	0	6,000	13,700	19,000	20,100
		その他	0	0	627	0	0
		一般財源	8,358	10,100	3,762	2,245	4,473
人件費 B	5,248	5,198	5,100	5,265	5,150		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	間伐面積	ha	目標	240.8	240	300	300	300	
		実績		122.45	143.98	161.11	203.48	249.44		
	(指標の説明)									
	2	竹林樹種転換面積	ha	目標	51.8	55	30	30	30	
		実績		19.79	42.25	25.54	21.79	29.5		
	(指標の説明)									
3	クヌギ造林面積	ha	目標	2.5	2.5	20	20	20		
	実績		0.18	22.35	27.12	29.74	40.71			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P164（農043）</p> <p>【事業の概要】 適正な森林造成計画を効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 18,089千円 間伐・竹林林種転換 213.77ha 平成26年度 21,245千円 間伐・竹林林種転換 255.01ha 平成27年度 24,573千円 間伐・竹林林種転換 319.65ha</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も間伐、竹林整備、クヌギ造林などを支援し、森林整備を進める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	間伐面積	51%	60%	54%	68%	83%
	2	竹林樹種転換面積	38%	38%	85%	73%	73%
	3	クヌギ造林面積	7%	894%	136%	149%	204%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	間伐等森林整備の推進が図られている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	森林吸収源対策等の推進に寄与している。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国県補助への高上げを行うことにより、森林整備が推進されるとともに木材の有効活用につながっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	林業事業体に補助することにより、森林所有者の負担軽減につながっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	森林吸収源対策の取り組みを推進するため継続して支援する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002154	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	間伐搬出支援事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	間伐搬出支援事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者・森林組合等
意図 (どのような状態にするために)	間伐した木材の搬出を支援し間伐施業の促進とその利用拡大を図る
手段 (どうするのか)	搬出した間伐材の材積に応じ助成する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度																																																
		間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成	間伐材搬出に係る経費を助成																																																
内容	年度別実績	間伐材搬出支援 (7件 8,907m3) 4,453,831円	間伐材搬出支援 (21,327m3) 19,271,780円	間伐材搬出支援 (21,931m3) 21,930,536円	間伐材搬出支援 (38,065m3)38,065,358円	間伐材搬出支援 (39,169m3)27,560,801円																																																
	事業費	<table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>決算額(千円)</td> <td>決算額(千円)</td> <td>決算額(千円)</td> <td>決算額(千円)</td> <td>決算額(千円)</td> </tr> <tr> <td>事業費(A+B)</td> <td>5,953</td> <td>20,757</td> <td>23,388</td> <td>39,570</td> <td>29,032</td> </tr> <tr> <td>直接経費 A</td> <td>4,454</td> <td>19,272</td> <td>21,931</td> <td>38,066</td> <td>27,561</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">直接経費の財源内訳</td> <td>国・県</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,454</td> <td>19,272</td> <td>21,931</td> <td>38,066</td> <td>27,561</td> </tr> <tr> <td>人件費 B</td> <td>1,499</td> <td>1,485</td> <td>1,457</td> <td>1,504</td> <td>1,471</td> </tr> </table>					区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	事業費(A+B)	5,953	20,757	23,388	39,570	29,032	直接経費 A	4,454	19,272	21,931	38,066	27,561	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0	地方債	0	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	0	一般財源	4,454	19,272	21,931	38,066	27,561	人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504
区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)																																																	
事業費(A+B)	5,953	20,757	23,388	39,570	29,032																																																	
直接経費 A	4,454	19,272	21,931	38,066	27,561																																																	
直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0																																																
	地方債	0	0	0	0	0																																																
	その他	0	0	0	0	0																																																
	一般財源	4,454	19,272	21,931	38,066	27,561																																																
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471																																																	
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20																																																
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		搬出量	万m3	目標	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	(指標の説明) 間伐した木材の搬出量	実績	0.9	2.1	2.2	3.8	3.9		
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P164（農044）</p> <p>【事業の概要】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 間伐材搬出支援 (実績) 平成25年度 21,931千円 搬出量 21,931? 平成26年度 38,066千円 搬出量 38,066? 平成27年度 27,561千円 搬出量 39,169?</p> <p>【今後の課題・方向性】 国造林事業補助金制度が改正され、原則間伐材の搬出が必要となったため、搬出の支援を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	搬出量	60%	140%	147%	253%	260%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	間伐材の増加に対応。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	県補助に嵩上げすることにより搬出意欲の向上につながっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	合板や木質バイオマス燃料等の需要増に対応している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	林業事業体に補助することで森林所有者の負担軽減につながっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	適正な森林整備には間伐施業は不可欠であり、支援の継続は必要である。間伐材は木質バイオマス燃料として需要が高まっており、更なる搬出量の増加を図る必要があるため、制度を見直した上で事業の継続を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002155	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	竹林整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	竹林整備事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-08

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	手つかずの荒廃竹林
意図 (どのような状態にするために)	鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林を適正に管理する
手段 (どうするのか)	アクセス道整備、抜き伐りなどの取り組みを支援する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 アクセス道整備3000m 抜き伐り28.47ha 皆伐0.5ha	平成24年度 アクセス道整備3000m 抜き伐り28.47ha 皆伐0.5ha	平成25年度 抜き伐り5ha	平成26年度 抜き伐り5ha	平成27年度 抜き伐り5ha	
	年度別実績	抜き伐り 2.57ha	抜き伐り 5.12ha	抜き伐り 4.32ha	抜き伐り 4.00ha	抜き伐り 5.31ha	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	23,302	29,203	28,432	21,249	29,323	
	直接経費 A	17,304	23,262	22,604	15,231	23,437	
	直接経費の財源内訳	国・県	15,105	22,619	21,296	14,238	21,927
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,199	643	1,308	993	1,510	
人件費 B	5,998	5,941	5,828	6,018	5,886		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		抜き伐り	ha	目標	7	7	5	5	5
	実績	2.57	5.12	4.32	4	5.31			
(指標の説明) 竹林の抜き伐り等を実施									
2		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P165（農045）</p> <p>【事業の概要】 拡大する竹対策として、鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。</p> <p>【事業の成果】 放置竹林整備の支援を行った。 (実績) 平成25年度 16,010千円 4.32ha（抜き伐り） 平成26年度 15,231千円 4.00ha（抜き伐り） 平成27年度 23,437千円 5.31ha（抜き伐り）</p> <p>【今後の課題・方向性】 放置竹林対策として有効であるため、継続して実施。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	抜き伐り	37%	73%	86%	80%	106%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	放置竹林の整備に有効。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	県補助に嵩上げ。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	森林環境整備及び景観対策として有効。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市との協定により、竹林所有者に対し事業実施後5年間の管理義務が発生する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 竹林対策を継続するため、鳥取県へ森林環境保全税の確保と制度の継続を要求する。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002160	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	作業道整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	森づくり作業道整備事業費			予算事業コード	01-05-02-02-16-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者及び森林組合
意図 (どのような状態 にするために)	森林整備に必要な路網の整備を促進し、低コストで効率的な林業生産活動につなげる
手段 (どうするのか)	作業道を整備する事業者へ補助金を交付する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
		作業道の整備に係る経費助成	作業道の整備に係る経費助成	作業道の整備に係る経費助成	作業道の整備に係る経費助成	作業道の整備に係る経費助成		
年度別実績		作業道の整備。 (8件 26,776m) 5,255,840円	作業道の整備。 (40路線 34,042m) 6,170,000円	作業道の整備。 (30路線 17,641m) 5,857,490円	作業道の整備。 (61路線 49,733m) 11,679,250円	作業道の整備。 (74路線 46,717m) 10,350,713円		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		6,755	7,655	7,314	13,183	11,822	
	直接経費 A		5,256	6,170	5,857	11,679	10,351	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		5,256	6,170	5,857	11,679	10,351		
人件費 B		1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		作業道整備	km	目標	20	25	34	34	143
			実績	27	34	18	61	46.7	
		(指標の説明) 開設した作業道の延長							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P166（農048）</p> <p>【事業の概要】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道の整備を促進する。 造林作業道整備の補助金（条件付きで普通林17%、保安林5%を上乗せ） ※国、県の補助と合わせると、補助率85% 作業道整備（普通林） 58,000m 作業道整備（保安林） 22,000m 合計 80,000m</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 5,892千円 45路線 36,000m 平成26年度 11,679千円 61路線 49,773m 平成27年度 10,351千円 74路線 46,717m</p> <p>【今後の課題・方向性】 国・県の補助事業とあわせて、継続して補助を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	作業道整備	135%	136%	53%	179%	33%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	作業路網の整備は適正な森林整備と低コスト林業の推進に不可欠である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	作業路網整備により、森林整備や木材搬出コストの低減が図られる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国県補助への高上げにより作業路網整備が推進されている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	広く森林整備を図っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	森林整備に必要な路網の整備を促進するため、継続して支援を行う。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002175	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(福部町漁港)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目 標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	岩戸漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態 にするために)	漁港及び関連施設の適正な維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設の維持管理を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
内容	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,200	8,419	7,660	7,965	13,286	
	直接経費 A	8,701	5,449	4,746	4,956	11,815	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	1,572
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	1	46	100	101
		一般財源	8,701	5,448	4,700	4,856	10,142
人件費 B	1,499	2,970	2,914	3,009	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.40	0.40	0.40	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出漁日数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			日	目標	50	50	50	50	50
			実績	53	54	63	53	79	
		(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P170（農056）</p> <p>【事業の概要】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行う。</p> <p>【事業の成果】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与した。 (主な維持管理内容) ・漁港施設維持、修繕費等 1.0式 ・岩戸漁港浚渫 3,800? (実績) 平成25年度 4,746千円 平成26年度 4,956千円 平成27年度 11,815千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 機能保全とコスト削減を図る必要がある。 今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。</p> <p>※その他財源の諸収入は、岩戸地区予防治山工事に伴う立木物件移転補償金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出漁日数	106%	108%	126%	106%	158%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が管理者であり、実施目的は政策体系に合致している。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	目的施策の推進に貢献しており、漁港に求められる管理指標を満たしている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的だが、今後予防保全型の維持管理へ移行し、コスト削減を図る必要がある。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	漁港の適切な管理により、漁業者をはじめ、周辺住民、広く市民へ恩恵を与えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>漁港機能の保全とコスト削減を図る必要がある。 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002176	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(気高町漁港)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	気高町漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-02

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	酒津漁港・船磯漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態にするために)	漁港施設等の適正な維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設等の適正な維持管理を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
内容	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	25,917	28,546	21,543	21,752	21,385	
	直接経費 A	24,418	24,833	17,900	17,991	19,178	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	3,007
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,611	1,611	3,687	2,559	2,278
	一般財源	22,807	23,222	14,213	15,432	13,893	
人件費 B	1,499	3,713	3,643	3,761	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.50	0.50	0.50	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出漁日数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			日	目標	150	150	150	150	150
			実績	157	173	168	166	187	
		(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算・P171(農057)          6月補正予算・P18(農005)</p> <p>【事業の概要】          第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行う。</p> <p>【事業の成果】          漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与した。          (主な維持管理内容)          ・漁港施設維持、修繕費等 1.0式          ・船磯漁港浚渫 5,600?          (実績)          平成25年度 17,900千円          平成26年度 17,991千円          平成27年度 19,178千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          機能保全とコスト削減を図る必要がある。          今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出漁日数	105%	115%	112%	111%	125%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か            ・対象と意図は現行でよいか            ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が管理者であり、実施目的は政策体系に合致している。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか            ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	目的施策の推進に貢献しており、漁港に求められる管理指標を満たしている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か            ・高い費用対効果が得られているか            ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的だが、今後予防保全型の維持管理へ移行し、コスト削減を図る必要がある。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か            ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	漁港の適切な管理により、漁業者をはじめ、周辺住民、広く市民へ恩恵を与えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	漁港機能の保全とコスト削減を図る必要がある。 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002177	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(青谷町漁港)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	青谷町漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	夏泊漁港・長和瀬漁港・青谷漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態にするために)	漁港施設等の適正な維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設等の適正な維持管理を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
内容	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	18,527	21,203	21,977	17,551	12,199	
	直接経費 A	17,028	17,490	18,334	13,790	9,992	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	1,102
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	901	901	889	1,575	1,872
	一般財源	16,127	16,589	17,445	12,215	7,018	
人件費 B	1,499	3,713	3,643	3,761	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.50	0.50	0.50	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		出漁日数	日	目標	130	130	130	130	130
			実績	138	140	148	147	158	
		(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数							
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P171（農056）</p> <p>【事業の概要】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行う。</p> <p>【事業の成果】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与した。 (主な維持管理内容) ・漁港施設維持、修繕費等 1.0式 ・夏泊漁港浚渫 760? (実績) 平成25年度 18,334千円 平成26年度 13,790千円 平成27年度 9,992千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 機能保全とコスト削減を図る必要がある。 今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出漁日数	106%	108%	114%	113%	122%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が管理者であり、実施目的は政策体系に合致している。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	目的施策の推進に貢献しており、漁港に求められる管理指標を満たしている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的だが、今後予防保全型の維持管理へ移行し、コスト削減を図る必要がある。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	漁港の適切な管理により、漁業者をはじめ、周辺住民、広く市民へ恩恵を与えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 漁港機能の保全とコスト削減を図る必要がある。 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002178	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(漁港海岸漂着物処理)		所属名	農林水産部 林務水産課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁港海岸漂着物処理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	海岸管理者が実施する海岸漂着物等の処理
意図 (どのような状態にするために)	年々増加する海岸漂着ごみを除去することにより海岸の環境を保全する。
手段 (どうするのか)	海岸管理者自らあるいはボランティア等に委託して海岸漂着物を集積し処理する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 海岸漂着物の処理	平成24年度 海岸漂着物の処理	平成25年度 海岸漂着物の処理	平成26年度 海岸漂着物の処理	平成27年度 海岸漂着物の処理	
	年度別実績	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,302	2,461	3,570	3,530	1,658	
	直接経費 A	4,803	976	2,113	2,026	187	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,802	0	2,113	2,025	163
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1	976	0	1	24
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		ゴミ回収量	m3	目標	300	96	96	96	96	
			実績	262	48	65	140	15		
		(指標の説明) 漂着ゴミ回収量								
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取市が管理する海岸(漁港海岸)に漂着したゴミ等(海岸漂着物)を回収・処理</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1. 海岸漂着物の集積、処分を行い、海岸環境の保全を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>酒津漁港海岸</td> <td>2. 0 m3</td> </tr> <tr> <td>船磯漁港海岸</td> <td>2. 0 m3</td> </tr> <tr> <td>夏泊漁港海岸</td> <td>3. 6 m3</td> </tr> <tr> <td>青谷漁港海岸</td> <td>3. 7 m3</td> </tr> <tr> <td>長和瀬漁港海岸</td> <td>3. 7 m3</td> </tr> </table> <p>2. 過去の推移</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>処理量</td> </tr> <tr> <td>平成25年度実績・・・</td> <td>2, 113千円</td> <td>65 m3</td> </tr> <tr> <td>平成26年度実績・・・</td> <td>2, 024千円</td> <td>140 m3</td> </tr> <tr> <td>平成27年度実績・・・</td> <td>187千円</td> <td>15 m3</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 漁港海岸の適正な維持管理のため事業を継続する。</p>	酒津漁港海岸	2. 0 m3	船磯漁港海岸	2. 0 m3	夏泊漁港海岸	3. 6 m3	青谷漁港海岸	3. 7 m3	長和瀬漁港海岸	3. 7 m3		事業費	処理量	平成25年度実績・・・	2, 113千円	65 m3	平成26年度実績・・・	2, 024千円	140 m3	平成27年度実績・・・	187千円	15 m3
	酒津漁港海岸	2. 0 m3																					
船磯漁港海岸	2. 0 m3																						
夏泊漁港海岸	3. 6 m3																						
青谷漁港海岸	3. 7 m3																						
長和瀬漁港海岸	3. 7 m3																						
	事業費	処理量																					
平成25年度実績・・・	2, 113千円	65 m3																					
平成26年度実績・・・	2, 024千円	140 m3																					
平成27年度実績・・・	187千円	15 m3																					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 ゴミ回収量	87%	50%	68%	146%	16%
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が管理者であり、実施目的は政策体系に合致している。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	目的施策の推進に貢献しており、求められる成果は得られている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実施手法は効率的であり、市民との協働によりコストに見合った成果をあげている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	海岸の適切な管理により、周辺住民・漁業者をはじめ、広く市民へ恩恵を与えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	漁港海岸の適正な維持管理のため事業を継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002017	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民農園設置事業		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	昭和53年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市民農園設置事業費			予算事業コード	01-05-01-03-03-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	遊休農地及び作物の栽培に取り組みたい市民
意図 (どのような状態 にするために)	遊休農地を農園として貸し出すことにより、農地の有効活用と市民の健全なレクリエーション機会の創出と健康増進を図る
手段 (どうするのか)	市内各地に市民農園を開設

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 市民農園の開設	平成24年度 市民農園の開設	平成25年度 市民農園の開設	平成26年度 市民農園の開設	平成27年度 市民農園の開設	
	年度別実績	市民農園の運営・管理を行った。	市民農園の運営・管理を行った。	市民農園の運営・管理を行った。	市民農園の運営・管理を行った。	市民農園の運営・管理を行った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,911	5,235	5,295	5,383	5,617	
	直接経費 A	2,162	1,522	1,652	1,622	1,938	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,362	1,323	1,652	1,322	975
	一般財源	800	199	0	300	963	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	利用率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	100	100	100	100	100
			実績	92.1	91	93.5	94.1	93.9	
		(指標の説明) 開設区画数に対する利用率							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P147(農010)</p> <p>【事業の概要】 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供することを目的とする。また、里仁地区に開設している4農園の内、2農園を平成27年度をもって閉園とした。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・7地区(里仁・布勢・滝山・叶・祢宜谷・湖山・吉岡)の農園を希望者に貸出す。</li> <li>・開設区画数：全494区画(66㎡：158区画、33㎡：336区画)</li> <li>・市民農園開設年度 里仁地区：昭和53年度、滝山・叶地区：昭和63年度、祢宜谷地区：平成4年度 布勢地区：平成7年度、湖山地区：平成18年度、吉岡地区：平成20年度</li> </ul> </p> <p>【事業の成果】 区画利用率 平成25年度 93.5% 平成26年度 94.1% 平成27年度 93.9%</p> <p>【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の開設スタイルを、今後は民間開設に移行することを視野に入れ、新たな運営方針を取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、市民農園利用料</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	利用率	92%	91%	94%	94%	94%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	今後は運営を市から民間へ移行していくことで、より市民ニーズに対応できる体制を構築することが望ましい。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	利用率が向上してきているため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	民間団体等と協力し維持管理を行っていくことで、職員の人件費を抑えることができ、尚且つ迅速に利用者のニーズに応えることが可能となっており、高い費用対効果が得られている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象は全市民としており広報等でも十分な周知を行っており、利用者負担についても同様の開設状況の他の自治体の価格設定と差がないため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	市が運営管理する現在の開設スタイルを、今後は民間開設に移行することで、より市民ニーズに対応できる体制を構築し、市が主体となることで掛かっていた維持管理の費用を圧縮していく方針で検討。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	003018	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	有害鳥獣被害対策事業(野生鳥獣)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	イノシシ等被害防止対策事業補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	野生鳥獣被害防止事業費		予算事業コード	01-05-02-01-07-02	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	有害鳥獣等による農作物被害等への対策支援
意図 (どのような状態にするために)	イノシシ等の被害対策を図ることにより農林水産業者の生産活動や住民の安全な生活が確保できる
手段 (どうするのか)	農作物被害等防止対策として侵入防止柵の設置や有害鳥獣個体減少対策として捕獲奨励金の支給、鳥獣被害対策実施隊による鳥獣出没時の緊急対応を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵) イノシシ等捕獲奨励金 捕獲檻	イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵) イノシシ等捕獲奨励金 捕獲檻	イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵) イノシシ等捕獲奨励金 捕獲檻	
				イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵)L=71,602m イノシシ等捕獲奨励金 イノシシ 1,811頭 シカ 709頭 アライグマ 18頭 ヌートリア 665頭 捕獲檻91基	イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵)L=59,931m イノシシ等捕獲奨励金 イノシシ2,084頭 シカ 656頭 アライグマ14頭 ヌートリア 466頭 捕獲檻80基	イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵)L=76,577m イノシシ等捕獲奨励金 イノシシ2,507頭 シカ 765頭 アライグマ8頭 ヌートリア402頭 捕獲檻107基	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	59,048	61,990	67,010	
	直接経費 A	0	0	48,120	50,707	55,974	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	22,332	24,039	26,356
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	143	116	132
		一般財源	0	0	25,645	26,552	29,486
人件費 B	0	0	10,928	11,283	11,036		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.50	1.50	1.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業実施率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	100	100	100	
			実績	0	0	99	100	100		
	(指標の説明) 事業要望団体数に対する実施率									
	2	捕獲率	%	目標	0	0	100	100	100	
				実績	0	0	116	97	132	
(指標の説明) 設定捕獲頭数に対する実捕獲頭数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P158（農032）</p> <p>【事業の概要】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金等を交付することにより、農林業者が安心して農林業の生産活動を行えるようにし、もって本市農林業の振興を図る。 ・捕獲奨励金交付 ・イノシシ等被害防止対策事業補助金     (1) 侵入防止柵設置への補助（農業者等で組織する団体）     (2) 狩猟免許取得への補助（第1種銃猟、わな免許新規取得者）</p> <p>【事業の成果】（平成27年度） ・捕獲実績 イノシシ2,507頭、アライグマ8頭、シカ765頭     ヌートリア402頭、カラス642頭 ・進入防止柵設置実績 電気柵 24,586m、ワイヤーメッシュ柵 51,991m ・狩猟免許新規取得17名</p> <p>平成25年度 48,120千円 平成26年度 50,707千円 平成27年度 55,974千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 捕獲した獣肉の活用及び流通できるシステムの構築</p> <p>※その他財源の諸収入は、処理施設光熱水費（利用者負担分）</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業実施率			99%	100%	100%
	2	捕獲率			116%	97%	97%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥獣被害が引き続き発生しているため事業実施は必須である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	現在の対策により被害面積や被害金額が減少しており有効な対策である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	補助による資材購入や物品の無償貸与など状況に応じて対応している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	被害防止のため事業主体者を限定せず、状況に応じて対応している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>対策の検討（侵入防止柵の設置、管理方法の徹底、捕獲方法など）を行い、被害防止を図る。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	003019	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	有害鳥獣被害対策事業(クマ)		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市クマよけ鈴等購入補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	クマ対策事業費			予算事業コード	01-05-02-01-07-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	人里へのツキノワグマの出没による人身事故を防ぐ
意図 (どのような状態にするために)	住民の安全を確保するための対策を講じ、人間とクマの安全な共存を図る
手段 (どうするのか)	クマが人家に近づかないよう追い払い物品の配布や周知看板の設置、出没時の緊急捕獲活動や錯誤捕獲の学習放獣等速やかな対応を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			ツキノワグマ緊急対応体制整備 名 クマ鈴補助 個	ツキノワグマ緊急対応体制整備12名 追い払い委託2地区 クマ鈴補助100個 注意喚起・追い払い用具 看板11基、駆除ロケット花火等	ツキノワグマ緊急対応体制整備12名 追い払い委託2地区 クマ鈴補助50個 注意喚起・追い払い用具 看板15基、駆除ロケット花火等	
	年度別実績			ツキノワグマ注意喚起看板 11枚 追払用ロケット花火6組 出没時安全対策警備延べ2日	ツキノワグマ緊急対応体制整備0名 追い払い委託1地区 クマ鈴補助6個 注意喚起・追い払い用具 看板22基、駆除ロケット花火等	ツキノワグマ緊急対応体制整備0名 追い払い委託0地区 クマ鈴補助0個 注意喚起・追い払い用具 看板15基、駆除ロケット花火等	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,725	3,982	3,835	
	直接経費 A	0	0	82	221	156	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	56	110	78
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	26	111	78
人件費 B	0	0	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	事業実施率	%	目標	0	0	100	100	100
				実績	0	0	12.5	40.3	62.7
	(指標の説明) 事業要望団体数に対する実施率								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>近年、人家近くへのツキノワグマ出没が頻発しており、人身事故を防ぎ住民の安全を確保するための対策を講じ、人間とクマの安全な共存を図る。また果樹園によるクマ出没被害が頻発しており、農家と農作物の安全を確保するための対策を講ずる。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(事業内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ツキノワグマ緊急対応体制整備(出没時安全対策)</li> <li>2. ツキノワグマ追払い体制整備(追払い業務委託)</li> <li>3. ツキノワグマ注意看板 15基</li> <li>4. クマ追い払い用品(唐辛子スプレー、動物駆逐・駆除用ロケット花火)</li> <li>5. クマ鈴補助</li> </ol> <p>(事業実績)</p> <p>平成25年度：82千円、平成26年度：221千円、平成27年度：156千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>緊急対応の体制整備、住民への注意喚起報</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業実施率			13%	40%	63%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	ツキノワグマの保護管理計画においても必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	個体と共存するためにも有効な対策である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	被害防止物品の配布、出没時安全対策は複合策として効率的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域の幅広い年齢層に応じて対応している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	引き続き、注意喚起、追い払い等実施し、被害防止を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002041	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	有機農業支援事業		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	有機農業支援事業補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	有機農業支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-31-31	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	有機堆肥
意図 (どのような状態にするために)	有機堆肥の取り組みを広め、環境に優しい農業を推進する。
手段 (どうするのか)	有機堆肥の購入費に対する支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成24年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成25年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成26年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成27年度 有機堆肥購入助成	
	年度別実績	有機堆肥支援 2,080t 有機肥料支援 190t	有機堆肥支援 1,479t 有機肥料支援 435t	有機堆肥支援 1,002t 有機肥料支援 401t	有機堆肥支援 928t 有機肥料支援 296t	有機堆肥支援 1,562t	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,798	5,479	5,197	3,550	2,930	
	直接経費 A	4,299	3,994	3,740	2,046	1,459	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,299	3,994	3,740	2,046	1,459		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		有機堆肥購入量	t	目標	0	0	2000	2200	2400
	(指標の説明)	有機堆肥の購入量	実績	0	0	1403	1224	1562	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P150（農016）</p> <p>【事業の概要】 担い手農業者が鳥取いなば農業協同組合等から購入する、有機堆肥の購入費に対する支援</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 事業費 3,740千円 有機堆肥（1,002t）、有機肥料（401t）に対して支援 平成26年度 事業費 2,046千円 有機堆肥（928t）、有機肥料（296t）に対して支援 平成27年度 事業費 1,459千円 有機堆肥（1,562t）に対して支援</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度をもって事業完了</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	有機堆肥購入量			70%	56%	65%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	環境に優しい農業の推進につながる事業であるため、妥当であると考える。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	一部農業者や資材に特化した事業であり緊急性等は低いですが、事業の推進により循環型農業や環境に優しい農業の促進につながるとともに、本市の環境保全や農業・農村振興に資するため、有効であると考える。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	有機堆肥の利用促進が図られているため、効率的であると考える。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	関係機関と連携を図りながら対象者の把握と周知ができているため、適正であると考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度をもって事業完了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002038	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特別栽培農産物生産振興事業		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	特別栽培農産物生産振興事業費			予算事業コード	01-05-01-03-30-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	特別栽培農産物
意図 (どのような状態にするために)	特別栽培農産物の取り組みを広め、環境に優しい農業を推進する。
手段 (どうするのか)	有機農産物や特別栽培農産物の生産や出荷に対する支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	平成24年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	平成25年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	平成26年度 特別栽培農産物生産振興	平成27年度 特別栽培農産物生産振興	
	年度別実績	特別栽培米出荷助成12,921袋 特別栽培農産物生産奨励18.4ha	特別栽培米出荷助成13,166袋 特別栽培農産物生産奨励20.2ha	特別栽培米出荷助成11,918袋 特別栽培農産物生産奨励19.1ha	特別栽培米出荷助成9,976袋 特別栽培農産物生産奨励20.9ha	特別栽培米出荷助成11,227袋 特別栽培農産物生産奨励16.6ha	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,894	6,099	5,647	5,206	5,310	
	直接経費 A	4,395	4,614	4,190	3,702	3,839	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,395	4,614	4,190	3,702	3,839		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		特別栽培農産物栽培面積	ha	目標	160	160	180	180	180
	実績	167	175	160	164	166			
(指標の説明) 本事業を活用した県認証特別栽培農産物、JA特別栽培米の作付面積									
2		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P149（農014）</p> <p>【事業の概要】 特別栽培農産物の生産・出荷に対して支援を行う生産振興。</p> <p>【事業の成果】 特別栽培米11,227.2袋、特別栽培農産物（米を除く）16.6haに対して支援を行い、特別栽培農産物の生産振興を図った。 (実績)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>特別栽培米</td> <td>特別栽培農産物面積</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>11,918.0袋</td> <td>19.1ha</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>9,976.1袋</td> <td>19.6ha</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>11,227.2袋</td> <td>16.6ha</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 消費者ニーズの高い安全・安心な減化学肥料米の生産・出荷を促進し、鳥取産米のブランド化を図るため、また、環境に優しい農業への取り組みを推進するため、特別栽培農産物の生産・出荷に対して支援を行う必要がある。</p>		特別栽培米	特別栽培農産物面積	平成25年度	11,918.0袋	19.1ha	平成26年度	9,976.1袋	19.6ha	平成27年度	11,227.2袋	16.6ha
		特別栽培米	特別栽培農産物面積										
平成25年度	11,918.0袋	19.1ha											
平成26年度	9,976.1袋	19.6ha											
平成27年度	11,227.2袋	16.6ha											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	特別栽培農産物栽培面積	104%	109%	89%	91%	92%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	環境に優しい農業の推進を図るうえで妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	環境に優しい農業である有機・特別栽培に取り組む農業者は増加しており、有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	再生産性の悪い有機・特別栽培農産物に対象を絞って支援を行っており、効率的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 公平ではない	関係機関と連携を図ることで対象農業者の把握と周知が図れており、適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	減農薬、減化学肥料等で生産された安心安全な農産物のニーズは高く、取り組み拡大に向け検討していくことが必要と考えるが、国の日本型直接支払制度等の活用はシフトし、制度終了する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002027	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地産地消推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地産地消推進事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民、各保育園・小中学校、地産地消推進団体等
意図 (どのような状態にするために)	地産地消を推進するため。
手段 (どうするのか)	地産地消推進協議会を開催し、地産地消推進行動計画に基づく各種事業の円滑な進捗を図る。また「地産地消フェア」を開催し、広く市民へ啓発する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	
	年度別実績	「地産地消フェア」の開催 H24.2.12開催 地産地消フェアプレイベント開催 H23.1.29開催	「地産地消フェア」の開催 H25.2.24開催	「地産地消フェア」の開催 H26.2.9開催	「地産地消フェア」の開催 H27.1.24開催	「地産地消フェア」の開催 H28.1.23開催	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,200	1,038	1,074	1,078	914	
	直接経費 A	450	295	345	326	178	
	直接経費の財源内訳	国・県	214	86	112	116	51
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7	0	0	0	0
		一般財源	229	209	233	210	127
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	地産地消フェアの参集人数	人	目標	0	0	300	300	300
				実績	0	0	200	350	1000
	(指標の説明) 地元の農林水産物や優れた技術で生み出された製造品の素晴らしさを一人ひとりが認識し、地元で消費する。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 関係団体等とで構成している地産地消推進会議により、地産地消推進行動計画に基づく各種事業の円滑な進捗を図るとともに、啓発イベント等を行う。</p> <p>【事業の成果】 (1) 地産地消推進協議会を開催し地産地消行動計画の円滑な推進を実施 構成：農林水産業関係団体、消費者関係団体、商工関係団体、公募委員等 (2) 「地産地消フェア」の開催 内容：ステージイベント、調理体験コーナー、地産地消商品販売、パネル展示 ※市報、ホームページ、各種イベントで啓発、情報発信を実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 学校給食食材を始めとした地産地消率も向上しているところであり、引き続き、事業を継続し、地産地消意識の定着を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地産地消フェアの参集人数			67%	117%	333%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の地産地消率を向上させるため、必要な事業である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校給食の地産地消率は横ばい状態であるが、地元の農畜産物を活用する消費者が増えていることは大きな成果であると考えている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	フェアの開催により地産地消に対する意識は向上しており、今後も効果は期待される。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	農業・商業・漁業・林業などの関係団体で構成した協議会で開催するフェアで、市民に広く参加を呼びかけており、今後も実施する事業である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市において地産地消を推進することは、地域内経済循環を促し、経済の活性化につながるものであり、引き続き継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002028	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	食育アドバイザー派遣事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成15年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市食育アドバイザー派遣要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	食育アドバイザー派遣事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-04

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	食育アドバイザー
意図 (どのような状態 にするために)	地元農産物や地域の食材を使った伝統料理等に対する理解を深めることにより、食と農林水産業の地産地消の促進を図る。
手段 (どうするのか)	小・中学校等での食育教育への派遣及び公民館主催の料理講習など各種団体が行う地産地消等に関する研修会などに「食育アドバイザー」を派遣する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 「食育アドバイザー」 の派遣	平成24年度 「食育アドバイザー」 の派遣	平成25年度 「食育アドバイザー」 の派遣	平成26年度 「食育アドバイザー」 の派遣	平成27年度 「食育アドバイザー」 の派遣	
	年度別実績	「食育アドバイザー」 の派遣 57件 1,102名参加	「食育アドバイザー」 の派遣 64件 1,773名参加	「食育アドバイザー」 の派遣 61件 1,029名参加	「食育アドバイザー」 の派遣 57件 957名参加	「食育アドバイザー」 の派遣 47件 846名参加	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,079	1,093	1,057	1,048	991	
	直接経費 A	329	350	328	296	255	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	157	108	104	110	71
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	172	242	224	186	184
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		派遣回数	回	目標	53	55	55	60	60	
				実績	57	64	61	57	47	
	(指標の説明) 研修会などへの派遣回数									
	2	研修会等への参加人数	人	目標	0	0	600	600	600	
				実績	0	0	1029	957	846	
(指標の説明) 地域の食材を使った伝統料理等に対する理解を深め地産地消を推進する。										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P108（経003）</p> <p>【事業の概要】 小・中学生、保育園児・保護者や市街地の消費者が、農林水産物や地域の食材を使った伝統料理に対する理解を深めることにより地産地消を推進する。 優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人々を「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地域公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深める。 食育アドバイザー謝礼：派遣1回当たり：講演10千円/人、農林水産物加工・料理講習5千円/人</p> <p>【事業の成果】 H25年度 登録人数26人 派遣回数60件 参加人数1,029人 H26年度 登録人数21人 派遣回数57件 参加人数957人 H27年度 登録人数20人 派遣回数47件 参加人数846人</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き事業を継続し、地元食材を活用した伝統料理等への理解を深め、地産地消意識の醸成を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	派遣回数	108%	116%	111%	95%	78%
	2	研修会等への参加人数			172%	160%	160%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の地産地消協議会の承認が必要。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市の機関が承認することにより利用者が安心して活用できる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	主催者のアンケートを取っているが、参加者にも好評である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	アドバイザー名簿と利用の手引きは公式ウェブサイトで公開しているほか、年度初めに各小中学校、保育園幼稚園、地区公民館等に郵送等で配布している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	より多くの団体の派遣制度利用を促し、地元食材を使った伝統料理等に対する理解を深め、地産地消の促進を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002019	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域米消費拡大対策事業		所属名	農林水産部 農業振興課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	米作り体験学童農園設置事業実施要領・小学校米料理教室開催事業実施要領
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地域米消費拡大対策事業費		予算事業コード	01-05-01-03-05-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学生
意図 (どのような状態にするために)	食と農に対する関心を深めさせるとともに、米の消費拡大につなげていく。
手段 (どうするのか)	米づくり体験や収穫物を使用した料理講習を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 1. 米づくり体験学童農園設置支援 2. 米料理教室の開催	平成24年度 1. 米づくり体験学童農園設置支援 2. 米料理教室の開催	平成25年度 1. 米づくり体験学童農園設置支援 2. 米料理教室の開催	平成26年度 1. 米づくり体験学童農園設置支援 2. 米料理教室の開催	平成27年度 1. 米づくり体験学童農園設置支援 2. 米料理教室の開催	
	年度別実績	1. 米づくり体験 23校 170a 2. 米料理教室 20校 28回 817人	1. 米づくり体験 23校 146a 2. 米料理教室 21校 26回 880人	1. 米づくり体験 22校 153a 2. 米料理教室 21校 26回 835人	1. 米づくり体験 21校 122.5a 2. 米料理教室 19校 26回 803人	1. 米づくり体験 24校 162.64a 2. 米料理教室 19校 25回 726人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,110	1,961	1,977	1,926	1,875	
	直接経費 A	1,360	1,218	1,248	1,174	1,139	
	直接経費の財源内訳	国・県	647	376	398	440	326
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	713	842	850	734	813
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	取組小学校数	校	目標	30	30	30	30	30	
				実績	23	23	22	21	24	
	(指標の説明) 取組小学校数(米づくり体験学童農園)									
	2	取組回数	回	目標	28	28	28	28	28	
				実績	28	26	26	26	25	
	(指標の説明) 取組回数(米料理教室)									
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P148（農011）</p> <p>【事業の概要】 1. 米づくり体験学童農園設置事業：児童に田植えから稲刈りまでの米づくりを一貫して体験させることで、我が国の食料事情や伝統的な主食である米の大切さを理解させ米の消費拡大につなげることを目的とし、実施希望小学校のPTA等に委託。 2. 米料理教室：米づくり体験学童農園設置事業を活用した小学校を対象に開催し、収穫米を児童自らが調理することで、日本型食生活の見直しや米の消費拡大の喚起を目的とし、調理指導等を鳥取市食育推進委員会へ委託。</p> <p>【事業の成果】 1. 米づくり体験学童農園実施校数 平成25年度 22校 平成26年度 21校 平成27年度 24校 実施校の増加により、より多くの児童が米づくりを体験し米の大切さを学んだ 2. 米料理教室実施回数 平成25年度 26回 平成26年度 26回 平成27年度 25回 米に対する児童の関心が高まった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 より多くの小学校に取組んでもらえるよう、関係機関と連携をとりながら啓発活動を進めていく必要がある。 事業としては学校等からのニーズがあるため、継続して実施していく方向。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	取組小学校数	77%	77%	73%	70%	80%
	2	取組回数	100%	100%	93%	93%	93%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が関与することで、継続的な事業実施が可能となっている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童数の減少により、参加人数は減少しているもののこの事業に参加することで、児童の米に対する理解度が増している。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業実施を全て外部団体へ委託しているため、効率的に行なうことが可能となっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	実施したいが学校の近くに農地がない、指導者がいないなどの理由により実施できていない小学校があるため、市内の全小学校を対象としているものの、やや公平性に欠ける。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>実施したいが学校の近くに農地がない、指導者がいないなどの理由により実施できていない小学校に対し、関係部署との連携を取りながら、農地提供や指導者確保の斡旋を行う必要がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002031	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食用農産物供給支援事業(栽培支援)		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	学校給食計画栽培支援事業補助 金
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 目	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	学校給食計画栽培支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-15

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	学校給食用の食材を栽培している営農集団
意図 (どのような状態 にするために)	地元農産物を計画的かつ安全に生産する営農集団を支援することにより、学校給食に安全な農産物を提供する。
手段 (どうするのか)	学校給食用として生産出荷する団体に対して補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		営農集団の出荷時の支援 たまねぎ・30t 馬鈴薯・20t 千両なす・1.5t さつまいも・5t 白ネギ・0.5t ブロッコリー・0.5t にんじん・8t アスパラガス0.5t	営農集団の出荷時の支援 たまねぎ・25t 馬鈴薯・15t 千両なす・2t さつまいも・10t 白ネギ・0.5t ブロッコリー・0.5t にんじん・4t アスパラガス1t	営農集団の出荷支援 玉ねぎ24.3t、馬鈴薯11.2t、千両なす1.4t、さつまいも7.3t、白ネギ4.2t、ブロッコリー0.3t、にんじん3t、アスパラガス1.6t、さといも4	営農集団の出荷支援 玉ねぎ15.6t、馬鈴薯7.1t、千両なす1.9t、さつまいも7.8t、白ネギ3.6t、ブロッコリー0.9t、にんじん4.7t、アスパラガス1t、さといも他	営農集団の出荷支援 玉ねぎ19.6t、馬鈴薯12.1t、千両なす2.1t、さつまいも8.6t、白ネギ4.2t、ブロッコリー1.2t、にんじん4.3t、アスパラガス0.8t、さといも8.4t	営農集団の出荷支援 玉ねぎ29.9t、馬鈴薯10.1t、千両なす1.6t、さつまいも6.8t、白ネギ5.2t、ブロッコリー0.6t、にんじん5.1t、アスパラガス0.9t、さといも9.4t他
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,112	1,111	1,112	1,132	999	
	直接経費 A	362	368	383	380	263	
	直接経費の財源内訳	国・県	172	114	122	130	75
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	190	254	261	250	188		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	地産地消費率	%	目標 実績	60 60
2	(指標の説明) 学校給食に県内産の食材を使用した割合	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取地域の学校給食用に農産物を計画的に生産出荷する団体に対して、出荷経費等を助成し生産組織の育成を図ることにより、児童生徒に顔の見える安心・安全な農産物の提供を行うとともに、学校給食における地元産食材の利用促進を図る。 そのため、鳥取地域の学校給食用として生産出荷する団体に対して、栽培ほ場を特定するための看板設置と出荷経費助成、生産履歴の記帳助成を行う。 ○たまねぎ生産組合(国府町国分寺地区) 生産農家11戸 供給量32.3t ○さといも生産組合(鳥取市河内) 生産農家5戸 供給量10.5t ○ブロッコリー生産組合(鳥取市気高町、鹿野町) 生産農家10戸 供給量0.2t ○にんじん生産組合(鳥取市賀露、末恒) 生産農家6戸 供給量5.4t ○さつまいも生産組合(鳥取市末恒、湖山、賀露) 生産農家13戸 供給量7.6t ○大根、かぶ生産組合(鳥取市西品治、用瀬町、河原町) 生産農家4戸 供給量 大根11.2t かぶ1.1t ○白ねぎ生産組合(鳥取市鹿野町、気高町) 生産農家12戸 供給量4.2t</p> <p>【事業の成果】 農産物を計画的に栽培し、学校給食用食材として納入することにより、学校給食における地産地消率の維持向上に成果があった。 平成25年度 70% 平成26年度 72% 平成27年度 71%</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、地元食材の生産団体を支援することにより、安心・安全な地元農産物の計画栽培を増加させる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地産地消率	100%	108%	117%	120%	118%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校給食の地元農産物の利用促進を目的に地産地消の推進を図る。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	少しずつ生産団体・構成農家数も増えている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	生産者の食の安全への意識が高くなっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	本市の学校給食の地産地消率向上のため協力いただいている団体への支援であり、サービスは公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	学校給食用の農産物を計画的かつ安全に生産する農業集団を支援することにより、児童・生徒に安全な農産物を提供でき、地産地消の推進にもつながるため今後も続けていく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002033	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	学校給食用農産物供給支援事業(供給支援)		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	学校給食用農産物供給支援事業補助金
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	学校給食用農産物供給支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-21

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	学校給食用の食材を栽培している営農集団
意図 (どのような状態にするために)	学校給食用における地元農産物の利用促進を目的とした、団体の供給体制の整備の充実を図る。
手段 (どうするのか)	学校給食への地元産食材の供給体制を構築する団体に対して補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 営農集団の育成支援 8件	平成24年度 営農集団の育成支援 3件	平成25年度 営農集団の育成支援	平成26年度 営農集団の育成支援	平成27年度 営農集団の育成支援	
	年度別実績	営農集団の育成支援 4件	営農集団の育成支援 3件	営農集団の育成支援 3件 学校給食の供給に要するしょうゆの製造に必要な大豆の購入支援 1件 (平成25年度のみ)	営農集団の育成支援 4件	営農集団の育成支援 2件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	950	886	1,079	944	817	
	直接経費 A	200	143	350	192	81	
	直接経費の財源内訳	国・県	95	44	112	72	23
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	105	99	238	120	58
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		地産地消費率	%	目標	60	60	60	60	60	
			実績	60	65	70	72	71		
	(指標の説明) 学校給食に県内産の食材を使用した割合									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 学校給食への地元産食材の供給に取り組んでいる団体に対し、供給体制の整備・充実などの取組を支援することで学校給食における地産地消を推進する。 ○取組に要した経費の10/10(ただし、1団体につき上限5万円)</p> <p>【事業の成果】 H25年度：4件 H26年度：4件 H27年度：2件</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、学校給食への地元産食材の供給に取り組んでいる団体を増加させ、本市の地産地消を推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地産地消率	100%	108%	117%	120%	118%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の地産地消率の向上のため協力していただいている団体への支援。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	団体の供給体制の整備・充実への支援をすることにより、安心・安全な学校給食の実現につながる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	研修費用など補助対象が多く団体が利用しやすい。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	学校給食の地産地消率の向上に協力していただいている団体。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	より安心・安全な学校給食の実現に寄与するため今後も続けていく。	